

再処理施設  
ウラン試験経過報告

平成 17 年 7 月 6 日  
日本原燃株式会社

## 目 次

1. はじめに	1
2. 試験目的	1
3. ウラン試験中に使用する核燃料物質等	1
4. 化学試験からウラン試験への移行条件	1
5. 試験項目及び手順	2
6. 主な試験結果の要約	2
7. ウラン試験の実施体制	3
8. 不適合等とその対応	3
9. ウラン試験中の放射線管理	3
9.1 管理区域設定	3
9.2 施設放射線管理	3
9.3 被ばく管理	4
9.3.1 外部被ばく管理	4
9.3.2 内部被ばく管理	4
9.4 放出管理	5
9.5 環境監視	5
10. 放射性廃棄物の管理状況	6
10.1 気体廃棄物の管理	6
10.2 液体廃棄物の管理	6
10.3 固体廃棄物の管理	6
11. 通報連絡したトラブル	6
12. 核燃料物質の計量管理の状況	6
13. おわりに	7

## 1. はじめに

平成 16 年 12 月より、ウラン脱硝建屋等の 11 建屋<sup>\*1</sup>を管理区域に設定し、劣化ウランを用いたウラン粉末、ウラン溶液及び模擬ウラン燃料集合体、その他分析用の標準核燃料物質（以下、「ウラン溶液等」という。）を使用して、安全機能及び再処理設備本体等の性能を確認すべくウラン試験を開始した。

本報告は、ウラン試験を開始して約半年が経過したことから、主要機器であるせん断機や溶解槽の系統包括試験、パルスカラムやミキサセトラの系統試験に係るウラン試験の結果を中心に、当該施設に係る不適合事項、改善要求事項等（以下「不適合等」という。）を含め、平成 17 年 5 月末までとして取りまとめ、経過報告するものである。

なお、外乱試験、建屋統合試験等の各建屋で実施するウラン試験が終了した時点及び総合確認試験が終了した時点において、ウラン試験の結果について、アクティブ試験の安全性に係る必要な説明等を含め、別途、ウラン試験報告書として取りまとめ報告する。

\* 1 前処理建屋、分離建屋、精製建屋、低レベル廃液処理建屋、分析建屋、ウラン脱硝建屋、ウラン酸化物貯蔵建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋、低レベル廃棄物処理建屋及び第 2 低レベル廃棄物貯蔵建屋

## 2. 試験目的

ウラン試験の目的は、アクティブ試験の前に、ウラン溶液等を用いて、安全機能及び再処理設備本体等の性能（せん断、溶解、抽出等の特性、各系統の処理能力、ウラン損失量等）を確認することである。この中で不適合等を早期に抽出し、改造等の対策を講じる。また、試験を通して運転・保修員等の技術力の向上を図るとともに、運転要領書等の充実を図ることを目的としている。

## 3. ウラン試験中に使用する核燃料物質等

ウラン試験計画書にて計画した模擬ウラン燃料集合体 107 体（約 27 トン U）、ウラン粉末約 26 トン U すべてを平成 17 年 2 月 17 日までに再処理設備本体等に搬入した。このうち、平成 17 年 5 月末までに、62 体の模擬ウラン燃料集合体をせん断している。一方、ウラン粉末については、約 24 トン U をウラン脱硝建屋において硝酸により溶解し、ウラン溶液として分離施設、精製施設、脱硝施設に移送し、約 2 トン U をウラン脱硝建屋においてウラン脱硝塔の試験に使用した。

この他に、分析設備において、分析機器の較正等を行うために、ウラン同位体標準試料（U-235 約 1% 含有：約 0.005g、約 3% 含有：約 0.02g、約 50% 含有：約 0.03g）を使用した。

## 4. 化学試験からウラン試験への移行条件

化学試験からウラン試験へ移行するにあたり、ウラン試験開始の準備が整って

いることを、ウラン試験計画書に記載した第1グループ管理区域設定対象の各建屋(以下、第1グループという。)及び第2グループ管理区域設定対象の各建屋(以下、第2グループという)について、「化学試験からウラン試験への移行条件」として確認した。主な確認結果について、表-1に示す。

## 5. 試験項目及び手順

試験項目及び手順については、先行再処理施設の運転経験等を基に定め、これまでの化学試験と同様、施設が有する機能・性能の確認範囲を段階的に広げていく試験方法を採用している。また、試験項目の選定にあたり、設計の妥当性確認の観点から選定するとともに、先行再処理施設において過去に発生したトラブル情報を入手し、反映の要否について検討し、試験で確認する事項の選定を行っている。さらに、試験運転全体計画書に示したウラン試験において確認すべき安全関連確認事項を試験に反映している。実施すべきウラン試験項目を表-2に示す。

## 6. 主な試験結果の要約

各建屋の機器、系統に係るウラン試験項目のうち、主な試験項目について、これまでの試験結果の概要を表-3に示す。

せん断処理施設、溶解施設においては、模擬ウラン燃料集合体を用いて、せん断機能、せん断片の溶解特性等を確認した。今後、建屋全体を対象として運転し、運転パラメータの確認等を実施する。

分離施設においては、ウラン溶液等を用いて、定格処理量での運転におけるパルスカラム、ミキサセトラの機能特性等を確認した。今後、これらの機器の最大処理運転での性能確認を実施するとともに、分離設備、分配設備の系統を包括し、性能等を確認する。また、建屋全体を対象として運転し、運転パラメータの確認等を実施する。

精製施設においては、ウラン溶液等を用いて、ウラン精製設備を中心に試験を実施しており、定格処理量での運転におけるミキサセトラの機能特性、ウラン濃縮缶の制御特性等を確認した。今後、これらの機器の最大処理運転での性能確認を実施するとともに、ウラン精製設備の系統を包括し、ウラン精製の性能等を確認する。また、プルトニウム精製設備のプルトニウム濃縮缶においては、ウラン溶液等を用いて、制御特性等を確認する。その後、建屋全体を対象として運転し、運転パラメータの確認等を実施する。

脱硝施設のうち、ウラン脱硝設備においては、ウラン粉末( $U_3O_8$ )を用いて、気流輸送能力及び溶解性能を確認した。今後、ウラン粉末( $UO_3$ )等を用いて脱硝塔の性能等の確認を実施する。また、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備においては、ウラン溶液等を用いて、混合槽における均質化性能を確認した。今後、焙焼炉・還元炉の性能等の確認を実施する。

## 7. ウラン試験の実施体制

ウラン試験は、図 - 1 に示す実施体制に基づき再処理工場長の指揮の下、技術部、試運転部、保守部等が主体となって、試験を実施した。また、先行再処理施設の運転経験を有する機関である COGEMA には、前処理建屋のせん断機、溶解槽、清澄機等、分離建屋、精製建屋のパルスカラム、ミキサセトラ、ウラン濃縮缶等について、核燃料サイクル開発機構には、ウラン脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の試験全般にわたって、支援を受けた。支援の内容としては、試験実施にあたって、試験手順書の精査、試験に立会っての助言、試験結果の妥当性確認等について支援を受けた。また、メーカーは、データ取得の助勢、試験操作のうち現場でのサンプリング作業等の助勢を行った。

## 8. 不適合等とその対応

ウラン試験期間中に再処理設備本体等において、平成 17 年 4 月末現在、120 件の不適合等が確認された。ウラン試験期間中に発生した不適合等の件数、処置状況等を表 4 に示す（対応状況については、平成 17 年 5 月末現在として記載）。表 - 4 においては、当該設備の工事等が終了し、必要な再試験、機能確認等が終了したものを工事等終了件数として集計している。

ウラン試験期間中に発生した 120 件のうち、試験要領書及び試験手順書に基づいて確認された不適合等（以下、「ウラン試験に係る不適合等」という。）は 6 件（表 - 5 参照）ウラン試験に直接関係しない不適合等は 114 件（表 - 6 参照）である。また、そのうち 41 件については、工事等が終了し、未処置である不適合等 79 件は、アクティブ試験開始までに処置を完了させることとするが、処置が完了しないものについては、試験運転全体計画書に基づき、保安上支障がないことをアクティブ試験への移行条件として確認する。

また、これまでにウラン試験期間中に確認された不適合等において、保安レベル上「保安上重要な不適合事項」に分類される不適合等は発生しておらず、試験運転の工程に影響するものは、発生していない。

## 9. ウラン試験中の放射線管理

### 9.1 管理区域設定

管理区域は大きく 3 つのグループに分け、各施設のウラン試験開始に合わせて段階的に設定することとし、第 1 グループを平成 16 年 12 月 20 日、第 2 グループを平成 17 年 1 月 7 日に設定した。

なお、模擬ウラン燃料集合体の搬入、仮置きにあたっては、前処理建屋内の仮置き箇所のみを第 1 グループと同じ平成 16 年 12 月 20 日に管理区域とした。第 2 グループの管理区域設定と同時に建屋全体を管理区域に設定した。

### 9.2 施設放射線管理

各建屋の管理区域において、(1)～(4)の測定を行った。

(1)線量当量率

エリアモニタにより、管理区域内の遮へい物側壁における線量当量率の測定を実施した。エリアモニタについては、グリーン区域、イエロ区域に応じた警報設定を行うとともに、線量当量率変動の早期把握のために注意報を設定し、制御室において警報監視を行った。

(2)線量当量

積算線量計により、管理区域内及び管理区域境界における線量当量の測定を実施した。

(3)空气中放射性物質濃度

ダストモニタ（アルファ線、ベータ線）による連続監視及びエアスニファによるサンプリング試料の測定により、管理区域内の空气中放射性物質の濃度を管理した。ダストモニタについては、グリーン区域、イエロ区域に応じた警報設定を行うとともに、空气中放射性物質濃度変動の早期把握のために注意報を設定し、制御室において警報監視を行った。

(4)表面密度

管理区域内の床の表面密度を測定し、有意な汚染の無いことを確認した。

各測定の結果、作業者の被ばくの原因となるような汚染や線量上昇はなかった。（表 - 7 参照）

### 9.3 被ばく管理

#### 9.3.1 外部被ばく管理

管理区域内に立入る放射線業務従事者の被ばく管理として、評価用個人線量計としてガラスバッジ又はルクセルバッジを、日管理用個人線量計として警報付ポケット線量計（以下「APD」という。）を装着した。

(1)日常管理

外部被ばくの日常管理としては、APD の警報として、放射線管理計画書に基づき日計画線量の残線量に 0.8 を乗じた値を管理区域に立入の度に設定し、放射線管理計画書によりあらかじめ設定された計画線量を超えないように管理した。

(2)定期評価

外部被ばく線量評価は、原則として 3 月（女子については 1 月）を超えない期間毎に一回行い、平成 12 年科学技術庁告示第 13 号（核燃料物質の加工の事業に関する規則等の規定に基づき線量限度等を定める告示）第 6 条に定める線量限度を十分下回っていることを確認した。（表 - 8 , 9 参照）

#### 9.3.2 内部被ばく管理

内部被ばくを防止するため、通常立入る場所の空气中放射性物質濃度を十分に低く維持管理することを放射線管理の基本方針とした。

(1)日常管理

内部被ばくの日常管理としては、作業モニタリングにより、空気中の放射性物質濃度に異常のないことを確認することにより、放射性物質の体内摂取が無かったことを確認した。

#### (2)定期評価

内部被ばく線量評価は、作業環境における空気中放射性物質濃度のモニタリング結果を用いて、空気中放射性物質濃度からの計算により評価した。評価は3月(女子については1月)毎に一回行った。その結果、記録レベル(2 mSv)を超える内部被ばくのないことを確認した。

また、ウラン粉末を取扱う放射線業務従事者から対象者を抽出して定期尿バイオアッセイを実施し、このためのバックグラウンド値を得るための事前評価も実施した。その結果、記録レベル(2 mSv)を超える内部被ばくのないことを確認した。

### 9.4 放出管理

#### (1)気体廃棄物

気体廃棄物の放出にあたっては、保安規定に定められた頻度で、主排気筒及び低レベル廃棄物処理建屋換気筒から放出される放射性物質をウランに着目して測定し、測定結果は全て検出限界値以下であった(表-10参照)。これにより保安規定に定めた放射性気体廃棄物放出量の管理目標値を超えていないこと及び平成12年科学技術庁告示第13号第9条に定める周辺監視区域外における空気中濃度限度を超えていないことを確認した。

また主排気筒の線ダストモニタの警報設定を行い、放出状況を監視することにより異常な放出のないことを確認した。

#### (2)液体廃棄物

液体廃棄物の放出にあたっては、放出の都度、放出前貯槽において廃液中の放射性物質濃度をウランに着目して測定し、測定結果は全て検出限界値以下であった(表-11参照)。これにより保安規定に定めた放射性液体廃棄物放出量の管理目標値をこえていないこと及び放射性物質の海洋放出に起因する線量が平成12年科学技術庁告示第13号第9条に定める線量限度を超えていないことを確認した。

また、排水を海洋へ放出する際には、排水モニタにより放出排水の放射線レベルを監視し異常な放出のないことを確認した。

### 9.5 環境監視

環境放射線管理としては、使用済燃料の受け入れ・貯蔵開始から実施している環境監視を継続して実施した。周辺監視区域境界付近に設置したモニタリングポスト及び周辺監視区域外に設置したモニタリングステーションにおいて、外部放射線等の連続監視を行い。また、環境試料を定期的に採取し、放射能分析・測定を行い、再処理施設からの放射線等による周辺住民等の線量が年線量

限度を十分下回っていることを確認した。

## 10. 放射性廃棄物の管理状況

### 10.1 気体廃棄物の管理

前述「8.4 放出管理」のとおり、気体廃棄物を管理している。

### 10.2 液体廃棄物の管理

前述「8.4 放出管理」のとおり、液体廃棄物を管理している。

なお、清澄設備の試験により発生する液体廃棄物は、当該設備内に一時的に保管している。

### 10.3 固体廃棄物の管理

ウラン試験中に発生した固体廃棄物は、平成 17 年 5 月末現在、200 リットルドラム缶で 64 本を管理区域に設定した第 2 低レベル廃棄物貯蔵建屋内に貯蔵している。その内訳を表 - 12 に示す。

## 11. 通報連絡したトラブル

安全協定に基づき青森県、六ヶ所村とにおいて、ウラン試験等に係るトラブル等対応要領を定めている。トラブルの重要度に応じて、夜間・休祭日を問わず直ちに報告する情報（A 情報：安全協定報告事象、社会的影響の出るおそれのある事象等）、事象発見が夜間の場合には、翌朝速やかに連絡する情報（B 情報：事象の進展によっては、安全協定報告対象又は社会的影響が出るおそれのある事象等）、原則として平日の勤務時間内に連絡する情報（C 情報：A 情報、B 情報には該当しない軽度な不具合、漏えい、汚染等、特に連絡を要する事項）に分類して通報連絡することとしている。

平成 17 年 5 月末までに通報連絡した再処理設備本体等のトラブルは、A 情報 1 件、C 情報 1 件の計 2 件が発生している。A 情報である 1 件は、前処理建屋内において発生した硝酸性溶液の漏えいであり、NO<sub>x</sub> 発生装置から発生した非放射性的硝酸性溶液を屋外に排出する目的で設置されている配管の一部において、ステンレス鋼閉止フランジに取付けた炭素鋼製閉止プラグが腐食し、当該閉止プラグの根元に穴が開いて漏えいしたものである。本事象により、施設内に約 157 リットルの硝酸性溶液が漏えいしたが、外部への影響はなく、また、負傷者もなかった。C 情報である 1 件は、同じく前処理建屋において、査察官が査察のため、セル内に入ろうとしたところ、足を滑らせ負傷した事象である。

これらウラン試験で発生したトラブルの経験を踏まえ、トラブル時における社内の指揮命令システムの再確認、社外へ伝えるべき情報の再整理等を実施した。

## 12. 核燃料物質の計量管理の状況

計量管理規定に則り、計量管理及び国への定期的な計量管理報告を実施している。



平成 17 年 1 月 12 日に実在庫調査として、ウラン試験用の劣化ウラン粉末を溶解する区域（ウラン脱硝設備）において、六ヶ所再処理施設における初めてのバルク（溶液や粉末に含まれる核燃料物質（劣化ウラン））の計量を実施した。

実在庫調査では、帳簿在庫と実在庫との差（以下「在庫差」という。）を評価し、核燃料物質の転用（核爆発装置への使用）がないことを確認することとしている。

バルク状の核燃料物質量を求めるためには、溶液の核燃料物質の濃度測定、溶液の容量測定、粉末の重量測定を行う。そのため、これらの測定誤差に起因する量は、在庫差の要因となる。従って、出来る限り測定対象となる在庫量を減らすため、工程内をクリーンアウト（洗浄）して計量対象貯槽に集液するとともに、機器内の溶液量も最小限（ヒール量）とする必要がある。

この実在庫調査では、ヒール量の計量方法、クリーンアウトの方法も在庫差評価の一環として確認した。その結果、在庫差は、測定誤差内であることが確認できた。

なお、以上の実在庫調査は、平成 17 年 1 月 13～14 日に国及び国際原子力機関による検認（実在庫検認）を受けている。

次回の実在庫調査は、ウラン試験期間中に計画されており、施設全体での調査が行われる予定である。

### 13. おわりに

これまでに実施したウラン試験の結果の概要について、当該施設に係る不適合等を含め報告したが、引き続き安全を最優先にウラン試験を実施しているところである。

表 1 「化学試験からウラン試験への移行条件」の確認状況(第1・第2グループ)

「試験運転全体計画書」における化学試験からウラン試験への移行条件	確認結果
<b>共通確認事項</b>	
ウラン試験を行うために必要な保安規定が認可されていること。	第1Grの保安規定については、「再処理施設に関する保安規定の変更の認可について(平成16年6月17日付、平成16.02.27原第18号)」により、第2Grの保安規定については、「再処理施設に関する保安規定の変更の認可について(平成16年11月10日付、平成17.07.02原第7号)」により認可されていることを確認した。
ウラン試験を行うために必要な計量管理規定が認可されていること。	「計量管理規定の変更の認可について(平成16年4月23日付、16緒文科科第216号)」及び組織変更等に伴う「計量管理規定の変更の認可について(平成16年9月28日付、16緒文科科第2243号)」により認可されていることを確認した。
保安規定に係る規定・基準類が整備されていること。	第1Grの保安規定(平成16年6月17日認可)に係る規定・基準類については、「再処理施設保安規定に係る規定・基準類体系図」に基づき整備されていることを確認した。第2Grの保安規定(平成16年11月10日認可)に係る規定・基準類については、同体系図に基づき整備されていることを確認した。
計量管理規定に係る規定・基準類が整備されていること。	「再処理事業所計量管理要領の改定について(平成16年5月18日付)」及び組織変更等に伴う「再処理事業所計量管理規定の改定について(平成16年9月30日付)」により、整備されていることを確認した。
安全確保及び環境保全に関する協定書が締結されていること。	「六ヶ所再処理工場における使用済燃料の受入れ及び貯蔵並びにウラン試験に伴うウランの取扱いに当たった周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書(平成16年11月22日)」により、締結されていることを確認した。
汚染発生時等の対応訓練等の防災訓練が終了していること。	「再処理施設本体ウラン試験開始前の防災訓練について(実施報告書)」及び「放射線管理技能受講者リスト」により汚染発生時の訓練が終了していることを確認した。
<b>建屋別確認事項</b>	
a. 化学試験の各試験項目が終了していること。	「試験完了確認」チェックシート、「安全要求項目整理表」、及び個別の試験報告書により、化学試験が終了していることを確認した。
b. 以下に掲げるものを除き、工事検査(使用前検査)が終了していること。	「使用前検査終了確認チェックシート」により、工事検査(使用前検査)が終了していることを確認した。
ウラン試験用仮設備及び槽、セル等の仮閉止等の仮設備	-
化学薬品貯蔵供給系(オフガス吸着塔等)、ウラン酸化物貯蔵設備(ウラン酸化物貯蔵容器、貯蔵バスケット)、及びウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵設備(混合酸化物貯蔵容器、粉末缶)	-
化学薬品貯蔵供給系(硝酸ヒドロキシルアミン貯槽)の改造工事に伴う再受検	-
b. 以下の単体作動検査(使用前検査)が終了していること。	
高性能粒子フィルタ(ユニット)性能検査	(前処理建屋)平成15年12月8日・平成16年2月17日・平成16年2月20日・平成16年8月4日、(分離建屋)平成15年6月20日・平成15年11月5日・平成16年1月8日、(精製建屋)平成16年4月9日・平成16年4月16日・平成16年4月19日、(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)平成15年6月25日・平成15年8月26日、(中央制御室換気設備)平成14年5月23日に受検し、終了していることを確認した。
中央制御室送風機風量検査	平成14年5月23日に受検し、終了していることを確認した。
安全蒸気ボイラ供給能力検査(回収用貯槽までに中間貯槽を経由する系統の場合は、当該貯槽間の移送系統を除く)	平成14年6月12日に受検し、終了していることを確認した。
漏えい液回収系機能検査(回収用貯槽までに中間貯槽を経由する系統の場合は、当該貯槽間の移送系統を除く)	(前処理建屋)平成16年4月8日・平成16年4月9日・平成16年12月2日、(分離建屋)平成16年3月8日、(精製建屋)平成16年1月26日、(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)平成15年5月29日に受検し、終了していることを確認した。
可溶性中性子吸収材緊急供給系機能検査	平成14年2月23日に受検し、終了していることを確認した。
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備冷水系供給流量検査	対象なし
b. 以下の性能検査(使用前検査)が終了していること。	
屋内モニタリング設備性能検査	平成15年3月6,7日・平成15年3月11,12,13,14日・平成15年3月27,28日・平成15年4月1,2日・平成15年6月12日・平成15年11月18日に受検し、終了していることを確認した。
屋外モニタリング設備性能検査	平成15年4月24,25日に受検し、終了していることを確認した。
警報装置、インターロック及び安全保護系の作動検査	(前処理建屋)平成15年4月3日・平成15年5月12,13日・平成15年7月17,18日・平成15年7月30,31日、平成15年8月1日・平成15年12月2,3日・平成16年1月29,30日・平成16年3月24日、(分離建屋)平成14年10月17,18日・平成14年11月21日・平成15年8月19日・平成15年8月29日・平成15年10月21日・平成16年2月19,20日、(精製建屋)平成14年11月26日・平成14年12月9,10日・平成15年8月28,29日・平成16年4月6日、(ウラン脱硝建屋)平成15年10月21日、(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)平成15年6月19,20日・平成15年8月29日・平成16年2月19,20日・平成16年3月23,24日・平成16年4月6日・平成16年4月21日に受検し、終了していることを確認した。
ウラン試験運転段階における安全機能に関わるものについて、事業者による自主検査が計画に基づき定期的実施され、使用前検査で認められた性能が適切に維持されていること	「再処理施設屋内・屋外モニタリング設備 性能確認試験実施報告書」、及び「再処理施設の性能についての使用前検査成績書(社内自主検査記録)」により、第1、及び第2Grに必要な設備の性能が維持されていることを確認した。
b. 放射性廃棄物処理施設の試薬等を用いた機能確認	「安全要求項目整理表」、及び個別の試験報告書により、左記の確認が終了していることを確認した。
建屋の負圧確保の確認	「安全要求項目整理表」、及び個別の試験報告書により、左記の確認が終了していることを確認した。
c. 法令に基づく取扱者等の選任・届出の手続が完了していること。	「再処理事業所における核燃料取扱主任者の選任・届出について」、及び「再処理事業所における核燃料取扱主任者の代行者の選任・届出について」により、核燃料取扱主任者の手続が完了していることを確認した。
ウラン溶液等の取扱いに関して、運転要員等の教育訓練が行われていること。	保安規定に基づき実施する保安教育について、ウラン試験に従事する社員約910名(第1Gr:約790名、第2Gr:約120名)を対象に実施していることを、「入所時教育実施報告書」により確認した。
不適合等の処置がなされていること。未処置事項がある場合には、ウラン試験開始にあたって	化学試験期間中に発生した不適合等702件(第1Gr:309件、第2Gr:393件)について、602件について処置がなされていること、また、未処置事項のある不適合等100件(第1Gr:40件、第2Gr:60件)については、「不適合等の処置等の未完了に対する評価票」等によりウラン試験開始にあたって保安上支障がないことを確認した(添付資料参照)。
工事等の残件がウラン試験への移行に支障のないことを確認していること。	工事残件(第1Gr:39件、第2Gr:105件)について、「残工事確認票」等により、ウラン試験への移行に支障がないことを確認した。

表 - 2 ウラン試験項目一覧

施設	機器単体の調整	進捗状況	系統試験	進捗状況	系統包括試験	進捗状況	外乱試験	進捗状況	建屋統合試験	進捗状況
せん断処理施設(燃料供給設備、せん断処理設備) 溶解施設(溶解設備、清澄・計量設備)	計装ループ及び移送機器試験	B	他燃料タイプ調整試験	A	せん断・溶解試験(A系列)	B	施設緊急停止試験	A	最大処理能力試験(A系列)	B
	サンプリング試験	A	よう素フィルタ性能試験	C	せん断・溶解試験(B系列)	B	ゲデオン切替試験(A系列)	A	最大処理能力試験(B系列)	C
			よう素除去工程運転制御性確認試験	B	連続運転試験(A系列)	B	ゲデオン切替試験(B系列)	A	BWR燃料試験(A系列)	C
					連続運転試験(B系列)	B	せん断処理・溶解廃ガス処理設備排風機切替試験(A系列)	A	PWR燃料試験(B系列)	C
							せん断処理・溶解廃ガス処理設備排風機切替試験(B系列)	A	臨界管理システム確認試験	C
						塔槽類廃ガス処理設備異常試験	C			
分離施設(分離設備、分配設備)	計装ループ及び移送機器試験	B	ミキサセトラ試験	B	系統包括試験	B	施設緊急停止試験	C	建屋統合試験	C
	試薬調整供給試験	B	パルスカラム試験	B			パルスカラムの抽出不良試験	C	臨界管理システム確認試験	A
	サンプリング試験	B	ウラン濃縮缶試験	B			予備系起動試験	C		
			ゲデオン制御確認試験	A			機能故障時の挙動確認試験	C		
			溶媒フィルタ運転状況確認試験	B						
精製施設(ウラン精製設備、プルトニウム精製設備)	計装ループ及び移送機器試験	B	ミキサセトラ試験	B	系統包括試験	C	施設緊急停止試験	C	建屋統合試験	C
			ウラン濃縮缶試験	B			予備系起動試験	C	臨界管理システム確認試験	C
			プルトニウム濃縮缶試験	B			ウラン濃縮缶の外乱試験	C		
			ウラナス製造試験	C						
液体廃棄物の廃棄施設(低レベル廃液処理設備)	-							建屋統合試験	C	
その他再処理設備の附属施設(分析設備)	-		分析再現性試験	B				臨界管理システム確認試験	C	
脱硝施設(ウラン脱硝設備)			気流輸送試験	B	定格処理試験	C	施設緊急停止試験	C		
			溶解試験	B	搬送試験	C	ユーティリティ喪失試験	C		
			流動性確認試験	B						
			オーバーフロー系の機能確認試験	B						
			アンダーフロー系の機能確認試験	B						
			分析装置確認試験	A						
			濃縮試験	C						
			脱硝塔性能確認試験	C						
			充填試験	C						
			規格外製品の溶解試験	C						
			NOx回収系機能確認試験	C						
製品貯蔵施設(ウラン酸化物貯蔵設備)	-		搬送試験	C						
脱硝施設(ウラン・プルトニウム混合脱硝設備)	移送機器試験	B	塔槽類廃ガス処理設備確認試験	B	定格処理試験	C	施設緊急停止試験	C	建屋統合試験	C
	サンプリング試験	B	混合調整確認試験	A			ユーティリティ喪失試験	C	臨界管理システム確認試験	C
	モータ弁作動確認試験	C	単体運転確認試験	A						
	ロータリーフィーダ性能確認試験	C	システム健全性確認試験	B						
			全自動運転確認試験	A						
			分析装置作動確認試験	B						
			炉廃ガスフィルタ確認試験	B						
			グローブボックス内温度分布確認試験	A						
			焙焼炉炉内圧制御確認試験	A						
			還元炉炉内圧制御確認試験	A						
			脱硝処理性能確認試験	C						
			乾燥処理性能確認試験	C						
			冷却処理性能確認試験	C						
			粗砕処理性能確認試験	C						
			気送処理性能確認試験	C						
			逆洗処理性能確認試験	C						
			焙焼炉・還元炉性能確認試験	C						
			粉碎機性能確認試験	B						
			粉末飛散確認試験	C						
			粉末充てん性能確認試験	B						
			気送装置作動確認試験	A						
		気送性能確認試験	C							
		混合機性能確認試験	B							
		混合機排出性能試験	A							
		粉末充填機性能確認試験	C							
		貯蔵容器払出確認試験	C							
製品貯蔵施設(ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵設備)	-		搬送試験	C						
固体廃棄物の廃棄施設(低レベル固体廃棄物処理設備)			第1チャンネルボックス切断装置運転性能試験	C						
			第1バーナブルボイズン切断装置運転性能試験	C						

注) 類似の試験項目はまとめて記載した。

[進捗状況] (平成17年5月末現在)  
A: 試験終了  
B: 試験進捗中  
C: 試験未着手

表 - 3 試験結果の概要

試験項目		試験内容	試験結果の概要
せん断処理施設、溶解施設	せん断・溶解試験	以下の作動確認及び試験を行う。 1) 燃料供給設備（燃料横転クレーン）によるせん断処理設備への模擬ウラン燃料集合体の供給、燃料番号自動読取装置による燃料番号の読取り  2) せん断処理設備でのせん断及びせん断処理設備と溶解設備の取合い  3) 模擬ウラン燃料集合体のせん断片の溶解機能  4) 溶解槽とハル洗浄槽の取合い及びハル洗浄槽におけるハル洗浄機能  5) 清澄設備の処理能力	1) 燃料横転クレーンが自動運転によりせん断処理設備に模擬ウラン燃料集合体を問題なく供給できること、模擬ウラン燃料集合体により燃料番号自動読取装置の作動状況を確認し、応答に問題ないことを確認した。 2) 燃料せん断長さ等の制御機能が正常に機能し、燃料せん断長さ異常によるせん断停止のインターロックが作動しないこと、また、エンドピース酸洗浄槽中のウラン濃度を確認し、せん断に伴いエンドピース酸洗浄槽へ移行するウランが所定値以下であることを確認した。 3) 模擬ウラン燃料集合体の連続せん断時における溶解槽中のウラン濃度、及び酸濃度を確認した。 4) ハル洗浄槽の洗浄溶液中のウラン濃度を確認し、ハルとともに移行するウランが目標値以下であることを確認した。 5) 清澄機へのゲデオンの供給流量を確認し、定格及び最大流量時に清澄運転による処理ができることを確認した。
	連続運転試験	模擬ウラン燃料集合体を用いて、せん断処理施設及び溶解施設の連続運転を実施し、処理能力に関する試験を行う。	PWR型及びBWR型の模擬ウラン燃料集合体を用いてせん断処理施設及び溶解施設の連続運転を行い、処理能力を満足するタイミングダイアグラム <sup>1</sup> で運転できることを確認した。
	外乱試験	以下に示す異常事象を想定し、手順書に従って操作を行う。 ・ 施設緊急停止	1) せん断処理施設及び溶解施設が通常運転時に施設緊急停止を作動させ、各系統の対象機能が全て設計通りの挙動（フェイルセーフ）に移行することを確認した。 2) そのうち、安全機能を有する機器について、設計通り運転が継続されることを確認した。 3) 運転手順書に従って再起動が良好に実施できることを確認した。
分離施設	ミキサセトラ試験 <sup>2</sup>	ウラン溶液を用いてミキサセトラを運転状態とし、以下の試験を行う。  1) 界面位置を確認する。  2) 真空度あるいは堰高さを調整し、内部循環流量を調整する。  3) ミキサ部の連続相の確認を行う。  4) 水相及び有機相のサンプリングを行い、ウランの挙動を確認する。	最小及び定格処理量で運転できることを確認し、廃液等への異常なウランの流出がないことを確認した。 1) CRT表示から界面位置が目標位置にあることを確認した。但し、一部については、最大処理量時の試験結果を踏まえた上で再度評価・調整を行う。 2) プルトニウム洗浄器は真空度を調整し、最小処理量において目標とするA/O比 <sup>3</sup> が得られることを確認した。また、TBP洗浄器及びプルトニウム溶液TBP洗浄器並びにウラン溶液TBP洗浄器のA/O比は、最大処理量時の試験結果を踏まえて評価を行うが、最小及び定格処理量時では問題ないことを確認した。 3) ミキサ部で電気伝導度を測定し、有機相連続で運転できることを確認した。 4) 補助抽出器の水相出口及びウラン逆抽出器の有機相出口のサンプリングを行った結果、各相中のウラン濃度より、補助抽出廃液及び有機溶媒への異常なウランの流出がないことを確認した。

1：機器の一連の動作について、起動・停止のタイミングや時間間隔を時系列で並べたもの。

2：最大処理量時の試験結果を除く。

3：パルスカラム、ミキサセトラのような抽出器の運転条件のひとつ。抽出器に供給される水相(A)と有機相(O)の流量比。

	パルスカラム試験 <sup>1</sup>	<p>ウラン溶液を用いてパルスカラムの運転を行い、以下の試験を行う。</p> <p>1) 界面位置を確認する</p> <p>2) パルス圧とリテンション率<sup>2</sup>の関係曲線を作成する。</p> <p>3) TBP 洗浄塔の洗浄効率を確認する。</p>	<p>最小及び定格処理量で運転できることを確認し、廃液への異常なウランの流出がないことを確認した。</p> <p>1) 界面位置で安定に制御できることを確認した。但し、プルトニウム分配塔及びウラン洗浄塔については、界面位置は安定しているが、最大処理量時の試験結果を踏まえた上で再度評価を行う。</p> <p>2) パルス圧とリテンション率の相関を確認した。今後、最大処理量時での相関を確認し、目標とするリテンション率を得るパルス圧を確認する。</p> <p>3) 抽出廃液のサンプリングを行った結果、廃液中のウラン濃度により、抽出廃液への異常なウランの流出がないことを確認した。</p>
精製施設	ミキサセトラ試験 <sup>1</sup>	<p>ウラン溶液を用いてミキサセトラを運転状態とし、以下の試験を行う。</p> <p>1) 界面位置を確認する。</p> <p>2) 真空度あるいは堰高さを調整し、内部循環流量を調整する。</p> <p>3) ミキサ部の連続相の確認を行う。</p> <p>4) 水相及び有機相のサンプリングを行いウランの挙動を確認する。</p>	<p>最小及び定格処理量で運転できることを確認し、廃液等への異常なウランの流出がないことを確認した。</p> <p>1) CRT 表示から界面位置が目標位置にあることを確認した。但し、抽出器及び逆抽出器については、界面位置は安定しているが、最大処理量時の試験結果を踏まえた上で再度評価を行う。</p> <p>2) 真空度を調整し、目標とする A/O 比が得られることを確認した。</p> <p>3) ミキサ部でサンプリングを行い、有機相連続で運転できることを確認した。</p> <p>4) 抽出器出口水相及び逆抽出器有機相出口のサンプリングを行った結果、各相中のウラン濃度より、抽出廃液及び有機溶媒への異常なウランの流出がないことを確認した。</p>
	ウラン濃縮缶試験 <sup>1</sup>	<p>ウラン溶液を用いて濃縮運転を行い、運転性を確認する。</p> <p>1) 密度、液位の制御ループのパラメータ調整を行う。</p> <p>2) 濃縮係数<sup>3</sup>及び精製係数を確認する。</p> <p>3) ウラン濃縮液受槽の密度指示値と分析結果の整合確認。</p> <p>4) 各処理量での液位、圧力、温度の安定性を確認する。</p>	<p>最小及び定格処理量においてウラン溶液缶の濃縮性能を確認した。</p> <p>1) 密度、液位の制御ループのパラメータ調整を行い、密度、液位の制御が問題なく安定して行われることを確認した。</p> <p>2) 目標とする濃縮係数、精製係数が得られることを確認した。</p> <p>3) ウラン濃縮液受槽の密度指示値と分析結果が目標範囲内で整合していることを確認した。</p> <p>4) 各処理量において、液位、圧力及び温度が安定して制御できることを確認した。</p>
脱硝施設 (ウラン脱硝設備)	気流移送試験	<p>気流輸送装置を用いて、以下についてのウラン粉末の気送を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大型ウラン粉末容器から溶解用 UO<sub>3</sub> 供給槽へ</li> </ul>	<p>1) ウラン粉末 (U<sub>3</sub>O<sub>8</sub>) を大型ウラン粉末容器から溶解用 UO<sub>3</sub> 供給槽への気流輸送が問題なくできることを確認した。</p>
	溶解試験	<p>気流輸送試験で溶解用 UO<sub>3</sub> 供給槽へ気送したウラン粉末を用いて UO<sub>3</sub> 溶解槽での溶解試験を行う。</p>	<p>1) ウラン粉末 (U<sub>3</sub>O<sub>8</sub>) の溶解時間を確認した。</p> <p>2) UO<sub>3</sub> 溶解槽の密度指示値と分析結果が目標範囲内で整合していることを確認した。</p>
脱硝施設 (ウラン・プルトニウム混合脱硝設備)	混合調整確認試験	<p>濃度の異なるウラン溶液を混合槽において混合し、混合攪拌操作を実施する。</p>	<p>ウラン濃度の異なるウラン溶液を混合槽において混合し、目標時間で均質化混合できることを確認した。</p>

1：最大処理量時の試験結果を除く。

2：分散相容量がカラム容量(分散相容量 + 連続層容量)に占める割合。

3：ウラン濃縮缶におけるウラン溶液の濃縮操作によって生じる濃縮液と凝縮液中のウラン濃度の比

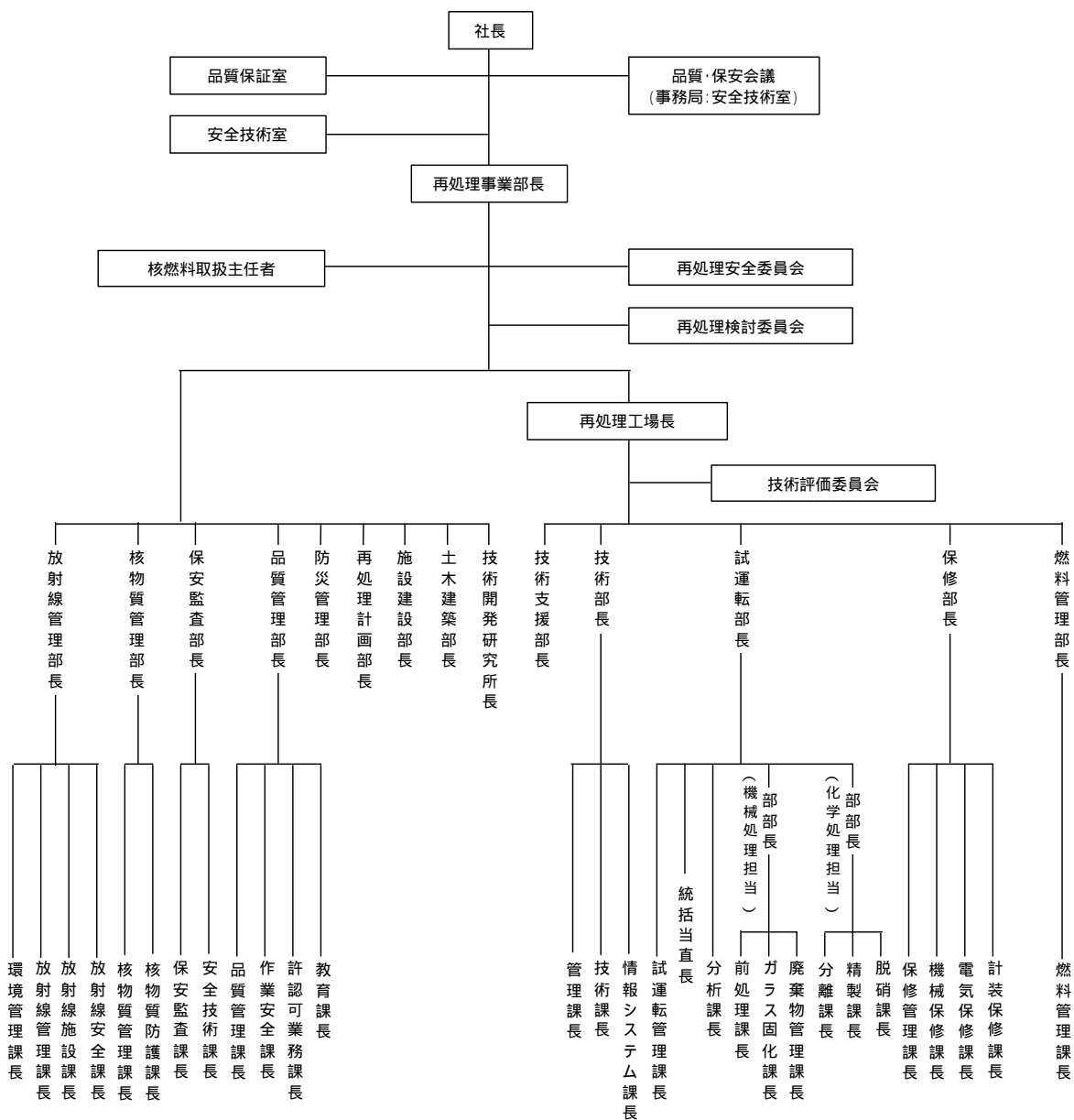


図 - 1 ウラン試験の実施体制

**表 - 4 ウラン試験期間中に発生した不適合等の状況  
(平成17年4月末迄に確認された不適合等)**

	発生件数	工事等終了件数*1	工事等実施中の件数	各建屋のアクティブ試験開始までに 処置を終了させることとしたもの	アクティブ試験以降に処置が継続さ れるものの保安上支障がないもの
ウラン試験に係る不適合等	6	3	3	3	0
ウラン試験に直接関係しない不適合等	114	38	76	76	0
合計	120	41	79	79	0

\*1: 当該設備の工事等が終了し、必要な再試験、機能確認等が終了したものを工事等終了件数として集計した。

\*2: 発生件数は平成17年4月末までに確認された不適合等の件数で、工事等終了件数、工事等実施中の件数は平成17年5月末現在。

**表 - 5 ウラン試験に係る不適合等(1 / 1)**  
**(平成17年4月末までに確認された不適合等 6件)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
1	せん断機 せん断モード移行時における時間超過警報の発生	前処理建屋	誤動作、動作不良	*C	d
2	せん断機の警報用タイマーの動作不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
3	工程管理用計算機における通信プログラムの不良に伴うサーバー間の伝送不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
4	サンプリングベンチ(試料分析用試料採取装置)サンプリングニードル(針)の外れ	分離建屋	その他(不適合)	C	d
5	ポンプ吐出側圧力指示計の表示範囲の不足	精製建屋	性能未達	C	b
6	再溶解・除染工程 溶解液ストレーナの目詰り	ウラン脱硝建屋	性能未達	C	c

保安レベル

発生事象及び処置内容により定めたもの

- A: 保安上重要な事項
- B: それ以外の保安に係る事項
- C: 保安に係らない事項

発生事象により定めたもの

- \*A: 保安上重要な事項
- \*B: それ以外の保安に係る事項
- \*C: 保安に係らない事項

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

\*: 件名は平成17年4月末までに確認された不適合等で、保安レベル、対応状況は平成17年5月末現在。



表 - 6 ウラン試験に直接関係しない不適合等(1/4)  
(平成17年4月末までに確認された不適合等 114件)

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
1	低レベル廃液処理施設への廃液移送前のウラン濃度分析未実施(ウランを使用した試験前であり廃液にウランは含まれていない)	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
2	圧力計継手部からの非放射性硝酸の飛散防止カバー内への微小漏えい	前処理建屋	漏えい	C	c
3	ハル・エンドピース用空ドラム保管室床ハッチ開閉用電動チェーンブロック動作不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
4	ハル・エンドピースドラム搬送工程 運転操作画面の表示不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	d
5	工程管理用計算機 溶液移送データシート作成機能の不良	前処理建屋	性能未達	C	c
6	前処理建屋における硝酸性溶液の漏えい	前処理建屋	漏えい	B	c
7	トポガン(セル内への小物搬入口のことをいい、ウラン試験では使用しない)用のグローブボックス内換気風量の不足(負圧は確保されている)	前処理建屋	性能未達	*C	d
8	サンプリング設備 面積式流量計の指示不良(実際の流量より高めの流量を表示)	前処理建屋	性能未達	C	d
9	防火ダンパ誤作動時の一時的正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	前処理建屋	改善事項	C	d
10	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	前処理建屋	改善事項	C	d
11	荷物用北第2エレベータ主ロープの緩み	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
12	エンドピース酸洗浄槽の密度設定値の改善	前処理建屋	改善事項	*C	d
13	建屋換気設備 建屋外の圧力測定に関する改善(強風等による影響の緩和)	前処理建屋	改善事項	*C	d
14	廃液サンプポンプの異物混入防止対策(ストレーナの設置)	前処理建屋	改善事項	C	d
15	ボーリング作業における計器収納箱に接続された埋設電線の損傷	分離建屋	損傷	C	c
16	試料採取設備 サンプリングベンチ動作確認時におけるグリッパ位置不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
17	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	分離建屋	改善事項	C	d
18	純水ポンプの圧力計導圧配管継手部からの純水のにじみ出し	分離建屋	損傷	*C	d
19	建屋換気設備 建屋外の圧力測定に関する改善(強風等による影響の緩和)	分離建屋	改善事項	*C	d
20	火災報知設備の不足に伴う設置	分離建屋	その他(不適合)	*C	d
21	異物混入防止用仮設ストレーナの設置	分離建屋	改善事項	*C	d
22	分離・分配工程流量指示値の脈動に関する改善	分離建屋	改善事項	*B	d
23	ブルトニウム濃縮液ポンプグローブボックスの遮へい体の輸送時の損傷	精製建屋	損傷	B	c
24	ブルトニウム濃縮液ポンプグローブボックスの遮へい体表面の微小傷	精製建屋	その他(不適合)	B	c
25	線エリアモニタの指示値変動(検出部不良によるもので実際の放射線量は変動していない)	精製建屋	誤動作、動作不良	B	d
26	ウラナス製造器室内 水素滞留防止に係る改善(排気口位置の変更)	精製建屋	改善事項	B	c
27	ウラナス製造工程 系統内圧力上昇時の洗浄塔水素希釈に係る改善	精製建屋	改善事項	B	c
28	ウラナス製造器室内 静電気除去に係る配管フランジ部の改善	精製建屋	改善事項	B	c
29	槽類オフガス処理設備 中性子モニタ絶縁抵抗低下に伴う指示値の乱れ(ウラン試験では試験対象外)	精製建屋	誤動作、動作不良	*C	d
30	硝酸ケイ酸貯蔵工程 弁グランド部から飛散防止カバー内への硝酸ウラニルのにじみ出し	精製建屋	漏えい	B	c

保安レベル

発生事象及び処置内容により定めたもの

A: 保安上重要な事項

B: それ以外の保安に係る事項

C: 保安に係らない事項

発生事象により定めたもの

\*A: 保安上重要な事項

\*B: それ以外の保安に係る事項

\*C: 保安に係らない事項

対応状況

a: 再試験実施済

b: 再試験未実施

c: 機能確認等実施済

d: 機能確認等未実施

\*: 件名は平成17年4月末までに確認された不適合等で、保安レベル、対応状況は平成17年5月末現在。

**表 - 6 ウラン試験に直接関係しない不適合等(2 / 4)  
(平成17年4月末までに確認された不適合等 114件)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
31	硝酸ヒドラジン貯槽ポンプ 吐出逆止弁押えボルトのステンレス化	精製建屋	改善事項	*C	d
32	溶媒回収設備 加熱蒸気用スチームトラップの取り付け角度不良	精製建屋	その他(不適合)	C	c
33	精製建屋における水酸化ナトリウム溶液の漏えい	精製建屋	漏えい	C	d
34	床ボーリング作業における室内コンセントボックス埋設ケーブルの破損	精製建屋	損傷	C	c
35	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	精製建屋	改善事項	C	d
36	工程管理用計算機における表示画面の切替不良	精製建屋	性能未達	C	c
37	床部ボーリング作業における火災報知器用電線の損傷に伴う火災報知器の誤発報	精製建屋	損傷	C	c
38	ウラン濃縮缶温度計の指示不良	精製建屋	性能未達	C	d
39	工程管理用計算機における計量管理データシート表示機能の不良	精製建屋	性能未達	C	c
40	弁蓋部から飛散防止カバー内への硝酸ウラニルの析出	精製建屋	漏えい	*B	d
41	ウラナス調整工程緊急停止時の工程内水素排出方法の改善(逃し弁の活用)	精製建屋	改善事項	B	d
42	ウラン廃液受槽 NOxガス供給ラインの変更	精製建屋	改善事項	B	d
43	洗浄塔の水素希釈容量の改善	精製建屋	改善事項	*C	d
44	窒素ガス流量低による自動停止インターロックの追加	精製建屋	改善事項	*B	d
45	水素ガス供給ラインへの圧力計の追加(中央制御室への表示)	精製建屋	改善事項	*C	d
46	窒素ガス供給ラインの変更	精製建屋	改善事項	*C	d
47	ウラナス製造器内フィルターへの逆洗ラインの追加(保守性の向上)	精製建屋	改善事項	*C	d
48	ウラナス定量ポンプの流量調節機能の追加(運転性の向上)	精製建屋	改善事項	*C	d
49	ウラニル溶液供給ラインへのアキュムレータ(脈動を緩和する装置)の追加(安定圧力による供給)	精製建屋	改善事項	*C	d
50	液位調節弁の仕様変更(制御性の向上)	精製建屋	改善事項	*C	d
51	ウラナス製造器冷水ラインへのドレンライン及びベント弁の追加(保守性の向上)	精製建屋	改善事項	*C	d
52	水素ガス流量調節弁の仕様変更(制御性の向上)	精製建屋	改善事項	*C	d
53	水素ガス流量計の仕様変更(運転性の向上)	精製建屋	改善事項	*C	d
54	気液分離槽液位低警報による工程停止インターロックの改善	精製建屋	改善事項	*C	d
55	建屋排気モニタ(自主設置)の指示値変動(検出部不良によるもので実際の放射線量は変動していない)	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	d
56	工程管理用計算機 溶液移送データシート作成機能の不良	低レベル廃液処理建屋	性能未達	C	c
57	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	d
58	低レベル廃液処理建屋 廃液受入基準の変更	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	*C	d
59	建屋換気設備 建屋外の圧力測定に関する改善(強風等による影響の緩和)	低レベル廃液処理建屋	改善事項	*C	d
60	弁グランド部からの極々低レベル放射性液体のにじみ出し(放射性物質の検出限界値以下)	低レベル廃液処理建屋	漏えい	*C	d

保安レベル  
発生事象及び処置内容により定めたもの  
A: 保安上重要な事項  
B: それ以外の保安に係る事項  
C: 保安に係らない事項

発生事象により定めたもの  
\*A: 保安上重要な事項  
\*B: それ以外の保安に係る事項  
\*C: 保安に係らない事項

対応状況  
a: 再試験実施済  
b: 再試験未実施  
c: 機能確認等実施済  
d: 機能確認等未実施

\*: 件名は平成17年4月末までに確認された不適合等で、保安レベル、対応状況は平成17年5月末現在。

**表 - 6 ウラン試験に直接関係しない不適合等(3 / 4)  
(平成17年4月末までに確認された不適合等 114件)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
61	気象盤グラフィックパネル表示器の表示不良	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
62	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	制御建屋	改善事項	C	d
63	換気設備用冷凍機圧力発信器の仕様変更による気密性の改善	制御建屋	改善事項	*C	d
64	洗濯廃液ろ過装置下流配管のサイトグラス内の活性炭等の付着	分析建屋	その他(不適合)	C	c
65	分析ボックス ドア開閉用圧空チューブの改善	分析建屋	改善事項	C	c
66	床面走行型外観検査装置のケーブル断線	分析建屋	損傷	*C	d
67	分析管理用計算機におけるサンプリングベンチ番号とサンプリング番号の不整合	分析建屋	性能未達	C	c
68	工程管理用計算機における計量管理データシート表示機能の不良	分析建屋	性能未達	C	c
69	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	分析建屋	改善事項	C	d
70	分析管理用計算機におけるサンプリングスケジュールの作成機能不良	分析建屋	性能未達	C	c
71	ランドリ設備 作業服折りたたみ機の故障	出入管理建屋	損傷	C	c
72	主排気筒 線ダストモニタ(自主管理)の指示値変動(検出部不良によるもので実際の放射線量は変動していない)	主排気筒管理建屋	誤動作、動作不良	C	d
73	線用核種分析装置(自主設置)の動作不良	主排気筒管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
74	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	ウラン脱硝建屋	性能未達	C	c
75	ウラン濃縮缶蒸発蒸気配管の腐食防止に係る改善	ウラン脱硝建屋	改善事項	*C	d
76	再溶解工程 弁グランド部から飛散防止カバー内への硝酸ウラニルのにじみ出し	ウラン脱硝建屋	漏えい	B	c
77	防火ダンプ誤作動時の一時的正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	ウラン脱硝建屋	改善事項	C	d
78	工程管理用計算機における計量管理データシート表示機能の不良	ウラン脱硝建屋	性能未達	C	c
79	仮設備撤去作業における排水(飲料水)時のオーバーフロー(床に約50リットル)	ウラン脱硝建屋	漏えい	*C	d
80	建屋換気設備 建屋外の圧力測定に関する改善(強風等による影響の緩和)	ウラン脱硝建屋	改善事項	*C	d
81	圧力計フランジ部から飛散防止カバー内への硝酸ウラニルの析出	ウラン脱硝建屋	漏えい	B	d
82	廃ガス冷却器 常用冷却水温度計の検出端の据付不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
83	廃ガス冷却器 常用冷却水温度計の接点復帰値の不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
84	硝酸ウラニル供給槽液位計の表示不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	*C	d
85	工程管理用計算機における計量管理データシート表示機能の不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達	C	c
86	脱硝装置昇降機回転部のターンテーブルとターンテーブルガイド部との干渉(すきまの不足)	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	干渉	*C	d
87	換気設備用冷凍機圧力発信器の仕様変更による気密性の改善	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	改善事項	C	d
88	分析試料の気送不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	d
89	高精度液位計 ソフト不具合に伴う警報の発報	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作、動作不良	*C	d
90	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における建屋換気空調用冷凍機潤滑系統からのオイルの漏えい	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	漏えい	*C	d

保安レベル

発生事象及び処置内容により定めたもの

- A: 保安上重要な事項
- B: それ以外の保安に係る事項
- C: 保安に係らない事項

発生事象により定めたもの

- \*A: 保安上重要な事項
- \*B: それ以外の保安に係る事項
- \*C: 保安に係らない事項

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

\*: 件名は平成17年4月末までに確認された不適合等で、保安レベル、対応状況は平成17年5月末現在。

**表 - 6 ウラン試験に直接関係しない不適合等(4 / 4)  
(平成17年4月末までに確認された不適合等 114件)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
91	脱硝工程 温度計の指示不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	B	d
92	脱硝装置 マイクロ波加熱に伴うマイクロ波導波管の温度上昇(1バッチ毎の冷却時間を確保することで運転に支障なし)	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達	*C	d
93	高精度液位計付属電磁弁の制御回路の不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	*C	d
94	脱硝装置 点検扉部の改善	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	改善事項	*C	d
95	非管理区域ドレン処理工程 排水用貯水槽液位スイッチの動作不良	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	性能未達	*C	d
96	粉体排出不良による工程停止	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	*B	d
97	液体バインダ供給ライン詰りに伴う圧縮成型装置の動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	*B	d
98	圧縮成型工程 添加剤詰りに伴う排出不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	*C	d
99	圧縮成型装置の破損	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	B	d
100	圧縮成型体排出ライン閉塞による圧縮成型装置の停止	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	*B	d
101	廃ガス洗浄塔循環水サンプリング配管とUボルトとの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	B	d
102	防火ダンパ温度ヒューズ取付け部の亀裂および破損	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
103	構内運搬容器補修設備 メルク(セル内の機器を遠隔で交換するための遮へい体付の容器)搬入ハッチ復旧時における手すりの破損	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	*C	d
104	工程管理用計算機における表示画面の追加による監視性の改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
105	換気設備用冷凍機圧力発信器の仕様変更による気密性の改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
106	建屋換気設備 建屋外の圧力測定に関する改善(強風等による影響の緩和)	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	*C	d
107	工程管理用計算機における表示画面の切替不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	c
108	第1搬出入室クレーン 給電用ケーブルと吊具の干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	*C	d
109	廃溶媒処理系 粉体供給ホッパ(粉体を貯めておくタンク)入口弁の調整	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
110	自動フォークリフト 二重格納警報発生に伴う遠隔自動運転の停止	第2低レベル廃棄物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	*C	d
111	バーナブルボイズン(使用済燃料集合体の構成部品)切断装置の取替えによる保守性の向上	使用済燃料受入・貯蔵建屋*1	改善事項	B	c
112	計装配管凍結による一時的な常用冷却水の供給圧力指示値上昇(実際には圧力上昇はなかった)	常用冷却水設備	誤動作、動作不良	C	d
113	モニタリングポストの天然核種計数率計(自主設置)の指示不良(空間放射線量率は正常に計測)	環境管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
114	再処理事業所定期報告要領(再処理施設)に基づく定期報告における集計誤り	-	その他(不適合)	*C	d

保安レベル  
発生事象及び処置内容により定めたもの  
A:保安上重要な事項  
B:それ以外の保安に係る事項  
C:保安に係らない事項

発生事象により定めたもの  
\*A:保安上重要な事項  
\*B:それ以外の保安に係る事項  
\*C:保安に係らない事項

対応状況  
a:再試験実施済  
b:再試験未実施  
c:機能確認等実施済  
d:機能確認等未実施

\* 1:本装置は、使用済燃料受入・貯蔵建屋に設置されているが、再処理本体設備に属するので、本資料に記載した。

\* 2:件名は平成17年4月末までに確認された不適合等で、保安レベル、対応状況は平成17年5月末現在。

表 - 7 ウラン試験における管理区域に係る放射線管理結果（平成 17 年 5 月末現在）

管理項目		管理手法	頻 度	管理基準値		管理目標値	結 果
線量当量	管理区域境界	電子式線量計による積算（線）	1 回 / 週	1.3mSv / 3 ヶ月		100 $\mu$ Sv / 週	管理目標値未満
	管理区域内			-		-	< 10 $\mu$ Sv / 週
線量当量率		固定式エリアモニタ（線）	1 回 / 日	500 $\mu$ Sv / h		50 $\mu$ Sv / h	管理目標値未満
空气中放射性物質濃度		固定式ダストモニタエアスニファ	1 回 / 週	G 区域	<sup>1</sup> DAC $\times$ 1 / 10	: 3 $\times$ 10 <sup>-8</sup> Bq / cm <sup>3</sup> : 4 $\times$ 10 <sup>-5</sup> Bq / cm <sup>3</sup>	管理目標値未満
				Y 区域	<sup>1</sup> DAC		管理目標値未満
表面密度		スミヤ法	1 回 / 週	G 区域	<sup>2</sup> 表面密度限度 $\times$ 1 / 10	: 2 $\times$ 10 <sup>-1</sup> Bq / cm <sup>2</sup> : 4 $\times$ 10 <sup>-1</sup> Bq / cm <sup>2</sup>	管理目標値未満
				Y 区域	<sup>2</sup> 表面密度限度		管理目標値未満

1 DAC とは平成 12 年科学技術庁告示第 13 号の作業者の呼吸する空气中放射性物質の濃度限度をいう。

（ : <sup>234</sup>U 3  $\times$  10<sup>-6</sup>Bq / cm<sup>3</sup>、 : <sup>234</sup>Th 4  $\times$  10<sup>-3</sup>Bq / cm<sup>3</sup>）

2 表面密度限度 : ( : 4Bq / cm<sup>2</sup>、 : 40Bq / cm<sup>2</sup> )

表 - 8 平成 16 年度第 3 四半期 実効線量区分別労働者数報告

( 1 ) 放射線業務従事者の被ばく状況 (平成 16 年度第 3 四半期)

線量 (mSv)	5 以下	5 を超え 15 以下	15 を超え 20 以下	20 を超え 25 以下	25 を超え 50 以下	50 を超え るもの	計
放射線業務 従事者数 (人)	2,232	0	0	0	0	0	2,232

注) 操業施設分を含む。

( 2 ) 女子の放射線業務従事者の被ばく状況 (平成 16 年度第 3 四半期)

線量 (mSv)		1 以下	1 を超え 2 以下	2 を超え 5 以下	5 を超え るもの	計
放射線 業務従 事者数 (人)	10月	5	0	0	0	5
	11月	7	0	0	0	7
	12月	12	0	0	0	12

注 1) 妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く。

注 2) 操業施設分を含む。

表 - 9 平成 16 年度第 4 四半期 実効線量区分別労働者数報告

( 1 ) 放射線業務従事者の被ばく状況 (平成 16 年度第 4 四半期)

線量 (mSv)	5 以下	5 を超え 15 以下	15 を超え 20 以下	20 を超え 25 以下	25 を超え 50 以下	50 を超え るもの	計
放射線業務 従事者数 (人)	3,536	0	0	0	0	0	3,536

注) 操業施設分を含む。

( 2 ) 女子の放射線業務従事者の被ばく状況 (平成 16 年度第 4 四半期)

線量 (mSv)		1 以下	1 を超え 2 以下	2 を超え 5 以下	5 を超え るもの	計
放射線 業務従 事者数 (人)	1月	19	0	0	0	19
	2月	19	0	0	0	19
	3月	23	0	0	0	23

注 1) 妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く。

注 2) 操業施設分を含む。

表 - 10 気体廃棄物の管理状況

放射性気体廃棄物

筒身名	平成16年度	上段:報告放出量(Bq), 下段:検出限界値(Bq/cm <sup>3</sup> )					排気風量(m <sup>3</sup> )				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年 度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年 度
主排気筒	その他 線 を放出する 核種(全 )	-	-	ND	ND	ND	-	-	4.0E+08	3.4E+09	3.8E+09
				2.9E-11	3.6E-11	3.6E-11					
低レベル廃棄物 処理建屋換気筒	その他 線 を放出する 核種(全 )	-	-	ND	ND	ND	-	-	2.3E+08	1.7E+09	1.9E+09
				2.6E-11	3.5E-11	3.5E-11					

- は対象外である。

ND: 検出限界未満

表 - 11 液体廃棄物の管理状況

放射性液体廃棄物

貯槽名	平成16年度	上段:報告放出量(Bq), 下段:検出限界値(Bq/cm <sup>3</sup> )					排水量(m <sup>3</sup> )				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年 度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年 度
第1放出前貯槽	その他 線 を放出する 核種(全 )	-	-	実績なし	ND	ND	-	-	実績なし	2.9E+03	2.9E+03
					1.8E-03	1.8E-03					

- は対象外である。

ND: 検出限界未満



表 - 12 固体廃棄物の管理状況（平成 17 年 5 月末現在）

	200 リットルドラム缶の貯蔵量(本)
濃縮廃液成型体	44
廃溶媒成型体	0
焼却灰成型体	0
廃活性炭（放出廃液処理）	0
廃活性炭（洗濯廃液処理）	20
圧縮減容体（難燃・不燃）	0
非圧縮減容体（難燃・不燃）	0

**別表 - 1 化学試験期間中に発生した不適合等の状況  
(管理区域設定前まで)  
【第1グループ、第2グループ】**

	対象グループ	発生件数	工事等終了件数 *4	工事等実施中の件数	各建屋のウラン試験開始までに処置を終了させたもの	ウラン試験以降に処置が継続されるものの保安上支障がないもの(移行条件確認時点)
化学試験に係る不適合等	第1 Gr *1,3	37	36	1	36	1
	第2 Gr *2,3	46	41	5	41	5
	小計	83	77	6	77	6
化学試験に直接関係しない不適合等	第1 Gr *1,3	272	254	18	233	39
	第2 Gr *2,3	347	314	33	292	55
	小計	619	568	51	525	94
合計	-	702	645	57	602	100

\*1: 劣化ウラン粉末を溶解するにあたり管理区域設定を行った  
分析建屋、ウラン脱硝建屋、低レベル廃液処理建屋、低レベル廃棄物処理建屋、第2低レベル貯蔵建屋、ウラン酸化物貯蔵建屋、出入管理建屋。

\*2: 溶解した劣化ウラン溶液等を用いてウラン試験を実施するにあたり管理区域設定を行った  
前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋。

\*3: 制御建屋、試薬建屋、非常用電源建屋、洞道等に係る不適合等については、\*1、\*2に示す各建屋のウラン試験を実施する際に共通的に使用する設備を有する建屋であることから、不適合等の内容及び是正すべき時期を勘案し、上記の各グループに振り分け集計した。

\*4: 平成17年4月末までに、当該設備の工事等が終了し、必要な再試験、機能確認等が終了したものを工事等終了件数として集計した。

**別表 - 2 化学試験に係る不適合等(1/3)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 83件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
1	締付不良による積算流量計フランジからの微小漏えい	前処理建屋	漏えい	C	a
2	NaOHの熱膨張による除染試薬系バルブの不動作	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
3	交換型スチームジェットからの漏えいによる検知ポット液位上昇	前処理建屋	漏えい	C	c
4	廃ガス加熱器の温度制御不良による粒子フィルタカートリッジ溶着剤の溶融	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	a
5	異物混入によるサンプポンプの液移送不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
6	仮設ホースの外れによる亜硝酸ナトリウムの飛散	前処理建屋	漏えい	B	c
7	異物混入による計量前中間貯槽ポンプの液移送不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
8	ハル・エンドピース充填装置とドラムの位置ずれによるパッキンの損傷	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
9	ハル・エンドピースドラム昇降装置の第2モータトルク異常	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
10	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	前処理建屋	性能未達	B	b
11	廃ガス処理設備の制御不良による溶解槽の圧力上昇	前処理建屋	その他(不適合)	B	a
12	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	分離建屋	性能未達	B	b
13	サンプリングニードル先端部の接合不良による脱落	分離建屋	その他(不適合)	C	a
14	異物混入によるポンプの液移送不良	分離建屋	その他(不適合)	C	a
15	プルトニウム分配塔の密度測定不良	分離建屋	誤動作、動作不良	B	c
16	流量計測ポットの設置レベル不良による流量指示不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
17	硝酸・純水混合ラインへの空気混入による密度計の指示不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
18	工程管理用計算機の施錠管理機能の不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
19	操作不良によるサンプリングベンチ(試料採取装置)内での試料ビン噛み込み	分離建屋	損傷	C	c
20	据付不良によるコリオリ式流量計の指示不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
21	アルファモニタ洗浄ラインへの空気混入による流量不安定	分離建屋	性能未達	C	c
22	制御電源の割付け不良によるバルセータの停止	分離建屋	誤動作、動作不良	C	a
23	排気ダンプの小風量への追従不備によるアクティブトレンチ内負圧の調整不良	分離建屋	性能未達	B	c
24	溶液の混合不良による高レベル廃液濃縮缶内液位の指示不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
25	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	精製建屋	性能未達	B	b
26	衝撃によるポリ塩化ビニル製フランジの亀裂発生	精製建屋	損傷	C	c
27	オーバーフロー配管の取付け位置不良による油水分離器溶媒排出不良	精製建屋	その他(不適合)	B	c
28	異物混入による槽内かくはん用ポンプの流量不足	精製建屋	その他(不適合)	C	c
29	Uシール切れによる溶媒処理系の真空度低下	精製建屋	その他(不適合)	B	c
30	衝撃によるポリ塩化ビニル製ポットの亀裂発生	精製建屋	漏えい	C	c

保安レベル

A:保安上重要  
 B:その他保安  
 C:軽微(保安に係らない)

対応状況

a:再試験実施済  
 b:再試験未実施  
 c:機能確認等実施済  
 d:機能確認等未実施

**別表 - 2 化学試験に係る不適合等(2/3)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 83件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
31	圧力損失の過大による蒸発缶からの濃縮液の抽出不良	精製建屋	性能未達	B	a
32	系統圧力損失過大による塔槽類廃ガス処理工程排気風量の不足	精製建屋	性能未達	B	c
33	漏れ込み空気確保によるパルセーション廃ガス処理系統負圧制御性の改善	精製建屋	性能未達	B	c
34	据付不良による溶媒排出用密度計の指示不良	精製建屋	その他(不適合)	B	c
35	軸封部の錆発生による回収硝酸受槽ポンプの停止	精製建屋	その他(不適合)	C	c
36	気液分離槽での圧力損失過大による気相部への硝酸の流出	精製建屋	性能未達	B	c
37	希釈率に係る設計確認不足によるスチームジェットポンプの吐出液温度上昇	精製建屋	その他(不適合)	B	c
38	塔槽類廃ガス処理系配管の取付位置変更によるミキサセラ真空制御の改善	精製建屋	改善事項	B	d*1
39	ベント配管の追置によるウラン濃縮缶濃縮液抽出流量の改善	精製建屋	性能未達	B	c
40	温度計の取付不良によるウラン逆抽出器加熱器出口温度計測不良	精製建屋	性能未達	B	c
41	オリフィス追加による溶媒処理系窒素封入時間の最適化	精製建屋	改善事項	B	c
42	計量調整作業の容易化のための試薬供給ラインの改善	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
43	出力信号の割付不良による純水・飲料水・工業用水設備の停止	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	a
44	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	分析建屋	性能未達	B	b
45	シート摺動面の抵抗増大による空気作動ボール弁の不動作	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
46	開度表示不良によるグローブボックス排風機の風量低下	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
47	吸気ラインの取付位置の不良による蒸気設備のダクトと塔槽類廃ガス処理設備の取合圧力不整合	分析建屋	その他(不適合)	C	c
48	遠心ペーンポンプ停止後のサイホン現象による抽出槽の液位低下	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
49	想定以上のサンプリング循環量による濃縮液受槽、抽出残液受槽のサンプリング不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
50	制御不良による外乱試験後の復旧時における建屋内一時正圧状況の発生	分析建屋	改善事項	C	c
51	サイホン現象に伴い発生する気泡による濃縮缶凝縮液流量計の指示不良	ウラン脱硝建屋	性能未達	B	c
52	計算機による施錠管理のソフトウェア不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達	B	b
53	脱硝装置B放電による導波管仕切り板損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	損傷	C	c
54	点検後の据付不良による第2排風機Bインペラの破損	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	損傷	C	c
55	計装用圧縮空気貯槽からの空気の直接供給による制御空気の安定供給の向上	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	B	c
56	非常用、運転予備用母線負荷の起動不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
57	調整液供給ノズルの閉塞による熱分解装置供給パージ窒素流量の低下	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	B	a
58	手順書誤記による廃溶媒処理系窒素分離機出口配管での消石灰堆積*2	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	a
59	逆止弁の不動作による廃溶媒処理系燃焼装置昇温不足*2	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	a
60	廃溶媒処理系燃焼装置炉内温度の実測に基づく設定値変更*2	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	a

\*1: 工事は完了しているが、使用前検査は今後受検。  
 \*2: 誤記の訂正。

保安レベル  
 A: 保安上重要  
 B: その他保安  
 C: 軽微(保安に係らない)

対応状況  
 a: 再試験実施済  
 b: 再試験未実施  
 c: 機能確認等実施済  
 d: 機能確認等未実施

**別表 - 2 化学試験に係る不適合等(3/3)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 83件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
61	廃溶媒処理系燃焼装置パイロットバーナ火炎検知の検知不良に伴う検知能力の向上*1	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	a
62	角型容器ふた締装置と位置検出装置との干渉に伴うクリアランスの確保	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
63	風量仕様の違いによる換気設備用ダンパの破損および異常振動	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	B	a
64	インタロック条件の不足による雑固体系ふた開閉装置昇降時の在荷異常発生	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	a
65	第3廃棄物保管クレーン吊具着底時におけるワイヤロープのねじれによるキャニスタ回転現象	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
66	第3廃棄物保管クレーン吊具と角型容器との干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
67	20リットルビン収納時の傾きに伴う吊具と角型容器との干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
68	角型容器内収納ラック不良による容器との干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
69	リミットスイッチの設定不良による雑固体系ドラム缶ホイストの移送不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	a
70	模擬粉体の充てん量不足による圧縮成型装置加熱部吊上機ロッドの破損	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	B	a
71	ガイドの据付不良による第1廃棄物取扱保管台車とアウトバレルの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
72	乾燥粉体の固着による乾燥装置粉体ホッパ内部からの周期的擦れ音の発生	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	a
73	モータ巻線の仕様違いによる圧縮減容体移送機1プッシュモータの電流値高	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	a
74	焼却装置の底ふたとシールプレートの干渉による開閉不良	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
75	制御口ジック不良による角型容器ふた開閉装置Bリフティングマグネット消磁でのふた落下	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	a
76	ワイヤのねじれによる第1廃棄物保管ラックガイドとアウトバレルとの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	異常振動	C	a
77	ベローズの二分割化による混合機計重系のパラメータ設定作業の改善*1	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	B	a
78	乾燥装置粉体ホッパ排出における弁開度の改善	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	a
79	廃棄物コンベヤ2にて搬送中のHEPAフィルタの旋回を防止する投入機エアシリンダの改善	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	a
80	圧縮減容装置内の干渉による圧縮減容体の排出不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	a
81	粉体仕切弁の不具合による全閉動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	a
82	粉体閉塞による乾燥装置の停止	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	a
83	ねじの緩みによる雑固体廃棄物投入機スライドダンパ全開不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	a

保安レベル

- A:保安上重要
- B:その他保安
- C:軽微(保安に係らない)

対応状況

- a:再試験実施済
- b:再試験未実施
- c:機能確認等実施済
- d:機能確認等未実施

\*1:誤記の訂正。

化学試験報告書(その2)では「化学試験に係る不適合等」は79件であったが、今回83件となっている。それは、「計算機による施設管理のソフトウェア不良」について化学試験報告書(その2)では5建屋分をまとめて1件としていたものを、建屋毎に分離したため4件増えたものである。

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(1/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
1	ハル・エンドピース充てん装置保守に係るインセルクレーン寄り付き不足	前処理建屋	干渉	C	c
2	スチームジェットハンマリング対策	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
3	廃ガス処理設備 ワイヤメッシュ不良によるミストフィルタカートリッジろ剤の剥落	前処理建屋	損傷	C	c
4	排気ダクトへ接続する排気ラインの不整合	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
5	溶解槽温度計 誤設置	前処理建屋	その他(不適合)	A	c
6	自動火災感知器の設置不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
7	燃料せん断片シュートA スライディングトラック設置における計測不良	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
8	溶解槽A燃料せん断片シュート溶接歪みによる外形寸法外れ	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
9	検出配管施工における設計図書との不整合	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
10	ハル・エンドピースドラム搬出庫インフレートシールの破損	前処理建屋	損傷	C	c
11	ハル・エンドピース充填装置ケーシング溝の寸法不良	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
12	改造後の確認中における溶解槽Aヒンジシュート洗浄用ノズルの損傷	前処理建屋	損傷	C	c
13	レールスパン測定基準の変更による保守用クレーン走行レールスパン許容値外れ	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
14	清澄機Bスプレー供給ノズルフランジ部からの硝酸漏えい*1	前処理建屋	漏えい	C	c
15	ドラム除染装置取付天井部スラブにおける錆の発生	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
16	コアボーリング施工時における埋設電線切断	前処理建屋	損傷	C	c
17	廃ガス処置設備フィルタ容器内壁における錆の発生	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
18	管理区域設定のための建屋間配管隔離及び復旧	前処理建屋	その他(不適合)	C	d
19	操作ミスによるサンプリングシンクからの硝酸漏えい	前処理建屋	漏えい	C	c
20	真空フィルタケーシング部の錆発生	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
21	2重エアロック扉の同時開によるエレベータ扉の破損	前処理建屋	損傷	C	c
22	せん断機内部品の錆の発生	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
23	逆止弁動作不良による凝縮水分離ポット温度高警報の発報	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
24	硝酸ミストの移行による排気ダクトの腐食	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
25	パッキン劣化による硝酸受入ラインにおける弁の内通	前処理建屋	漏えい	C	c
26	廃ガス処理設備 ミストフィルタカートリッジ純水供給ボスのOリングの損傷	前処理建屋	損傷	C	c
27	弁構造部の材質不良による漏えい発生	前処理建屋	漏えい	C	c
28	蒸気系導圧配管の保護ラバーの劣化	前処理建屋	損傷	C	c
29	特殊核計装設備中性子発生装置制御ユニットの動作不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
30	溶解槽B系 ローラ固着	前処理建屋	その他(不適合)	C	c

\* 1: 誤記の訂正。

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(2/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
31	雷インパルス試験結果に伴う構内接地網設備の増設、改良	前処理建屋等	改善事項	B	d
32	試薬系における建屋元弁の二重化	前処理建屋等	改善事項	B	c
33	溶解オフガス処理設備サンプリングボックス内のバルブガasket型式不整合	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
34	一般空気配管接続施工不備	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
35	操作ミスによるセル内カメラヘッド部分の破損	前処理建屋	損傷	C	c
36	安全蒸気ボイラーA 安全弁作動	前処理建屋	誤動作、動作不良	B	c
37	溶解オフガス処理設備 B系列高性能粒子フィルタDF低下	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
38	設計ミスによる配管貫通部の遮へい不足	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
39	インセルクレーンカメラ回転ストッパー未設置	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
40	中性子発生装置B系 No.1高電圧発生装置異常	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
41	バタフライ弁の振動によるギヤボックスボルトの緩み・脱落/破損	前処理建屋	損傷	C	c
42	ドラム搬出口扉のフレーム損傷	前処理建屋	損傷	C	c
43	溶解設備 堰付きサイフォン移送不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
44	燃料横転クレーン「最大処理量:超過」誤発報	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
45	建屋換気設備 建屋排風機C点検後復旧ロジックの実機の手順の相違	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
46	ドラム搬送設備 CRT及び工程管理用計算機のドラム管理No.非表示	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
47	エンドピースシュートガス洗浄塔6N回収硝酸流量計 設置場所に係る図書不整合	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
48	安全蒸気ボイラーBのパイロットバーナ不着火	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
49	NOx発生装置から発生する硝酸性窒素廃液を産廃処理するための仮設工事	前処理建屋	改善事項	C	d
50	セル内結露水の発生	前処理建屋	その他(不適合)	B	d
51	検査条件の設定ミスによるスチームジェットポンプ性能未達	前処理建屋	性能未達	C	c
52	自吸式ポンプの故障	前処理建屋	損傷	C	c
53	燃料横転クレーン 燃料振れ防止用ガイドバーの動作不良	前処理建屋	干渉	C	c
54	清澄機A 振動高高警報発報による清澄機の停止	前処理建屋	異常振動	C	c
55	燃料横転クレーン モータ過負荷に伴う作動停止	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
56	計量・調整槽及び計量補助槽の溶解液温度監視機能の向上	前処理建屋	改善事項	B	c
57	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	前処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
58	H4MERC, H6MERCと自立式換気キャビネットの取合い不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
59	弁塗装の仕様不整合	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
60	溶解槽入口詰まり検出装置不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c

保安レベル

- A:保安上重要
- B:その他保安
- C:軽微(保安に係らない)

対応状況

- a:再試験実施済
- b:再試験未実施
- c:機能確認等実施済
- d:機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(3/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
61	バスケット取扱装置 信頼性向上対策	前処理建屋	改善事項	C	c
62	純水配管サポート不具合	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
63	せん断機 せん断刃の材料変更	前処理建屋	改善事項	B	c
64	せん断機 せん断刃固定用ボルトの抜け止め対策及びせん断粉受け皿の保守性向上	前処理建屋	改善事項	C	c
65	前処理建屋における社内検査記録の最新版管理不備	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
66	計装配管セル 漏えい対策不良	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
67	前処理建屋における社内検査記録の確認不備	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
68	よう素フィルタ差圧計レンジ不備	前処理建屋	性能未達	C	c
69	分散型制御システム 出力カード不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
70	せん断工程 工程緊急停止ロジックの変更	前処理建屋	改善事項	C	c
71	よう素フィルタ第1加熱器ヒータエレメントの断線	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
72	放送設備における安全指令放送の動作回路の改善	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
73	線ダストモニタの誤作動	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
74	燃料横転クレーン 昇降動作の不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
75	トボガン(セルへの物品搬入口)のグローブボックスの負圧調整不良	前処理建屋	性能未達	C	c
76	ハル・エンドピースドラム計測装置途中停止	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
77	溶解槽 シュート洗浄ノズルとガイドパイプの摺動不良対策	前処理建屋	改善事項	C	c
78	せん断片シュート詰まり検知器用掃気ラインの逆流防止対策	前処理建屋	改善事項	C	c
79	燃料横転クレーンからせん断機への燃料データ伝送不良	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
80	サンプリンググローブボックス給排気系配管フランジ部のガスケット材質変更	前処理建屋	改善事項	C	c
81	溶解槽ホイール逆転時におけるバケット回転タイマーリセット機能の追加	前処理建屋	改善事項	C	c
82	A系せん断機上部端末排出時の作動時間超過警報に対する改善	前処理建屋	改善事項	C	c
83	ドラム充填装置セルドア開閉位置検知ロッドの広がり防止板と位置検知ロッド用ローラとの干渉	前処理建屋	干渉	C	c
84	風量調整用防火ダンパの温度ヒューズ装置の製作不良	前処理建屋	性能未達	C	c
85	溶解槽温度計の絶縁不良	前処理建屋	その他(不適合)	B	c
86	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	前処理建屋	性能未達	C	c
87	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(ダンパ機能の固定)	前処理建屋	改善事項	C	d
88	計器弁名称の銘板の取付け位置の誤り	前処理建屋	その他(不適合)	C	c
89	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	前処理建屋	改善事項	C	d
90	バスケット取扱装置グリッパ部重心位置の調整	前処理建屋	改善事項	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施



**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(4/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
91	せん断・溶解工程トラブル原因調査装置の導入	前処理建屋	改善事項	C	d
92	床部ボーリング作業における結露水等の排水配管(未使用品)の破損	前処理建屋	損傷	B	c
93	溶解液ゲデオン瞬時モード起動後の挙動不安定	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
94	パルセーションオフガス処理システム系統切替時挙動の改善	分離建屋	性能未達	C	c
95	ミキサセトラ 有機相のステージ間オーバーフロー	分離建屋	その他(不適合)	C	c
96	高レベル廃液濃縮工程冷却運転開始時のフラッシュドラム液位低警報の発報	分離建屋	その他(不適合)	C	c
97	漏えい検知ポットの液位上昇	分離建屋	性能未達	B	c
98	機器・配管取り合い部のボルト/ガスケット材質の相違	分離建屋	その他(不適合)	C	c
99	計装ラック据付ボルト材質間の相違	分離建屋	その他(不適合)	B	c
100	ソフトウェア不良による生産系制御盤の停止	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
101	工程制御盤 入出力盤のスイッチユニット銘板記入文字の相違	分離建屋	その他(不適合)	C	c
102	計器ラック計器銘板の相違	分離建屋	その他(不適合)	C	c
103	よう素フィルタ加熱器電源トリップ	分離建屋	損傷	B	c
104	弁開閉表示の取付不良による硝酸漏えい	分離建屋	漏えい	C	c
105	フリーズバルブ用液体窒素供給配管と冷却水配管との配管距離不足	分離建屋	干渉	B	c
106	オリフィスポット追設に伴う使用前検査再受検	分離建屋	その他(不適合)	B	c
107	建屋換気系差圧高による排風機停止	分離建屋	その他(不適合)	B	c
108	第1酸回収系自動工程停止試験時の排ガス槽液位上昇	分離建屋	その他(不適合)	C	c
109	排風機 予備機起動インターロックの改善	分離建屋	改善事項	C	c
110	分離建屋からガラス固化建屋への移送配管水封切れによる硝酸の移行	分離建屋	その他(不適合)	C	c
111	フレキシブルホースの誤供用によるカブラ部からの漏えい	分離建屋	漏えい	C	c
112	ポンブドレン弁の誤操作に伴うポンプの損傷	分離建屋	損傷	C	c
113	水酸化ナトリウム溶液の飛散による作業員への付着	分離建屋	その他(不適合)	C	c
114	蒸気用カブラ部からの蒸気漏れ	分離建屋	漏えい	C	c
115	サンプリングノズルと操作架台の干渉	分離建屋	干渉	C	c
116	オーバーフローによるデミスタ供給除染液のリワーク工程への溢流	分離建屋	その他(不適合)	C	c
117	スチームジェット真空ブレイクラインへの廃ガス逆流防止	分離建屋	その他(不適合)	C	c
118	圧縮空気系統ヘッダの分岐配管拔出し方向の変更	分離建屋	その他(不適合)	C	c
119	オリフィスの設置位置の不備	分離建屋	その他(不適合)	B	c
120	メルク用クレーン・モノレールのチェーン収納バケットの取付け	分離建屋	改善事項	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(5/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
121	スチームジェットメンテナンス用クレーンのチェーン収納バケットの取付方向の変更	分離建屋	改善事項	C	c
122	ポンプメカニカルシールド配管の構造変更による保守性の向上	分離建屋	その他(不適合)	B	c
123	NOx発生装置から発生する硝酸性窒素廃液を産廃処理するための仮設工事	分離建屋	改善事項	C	d
124	セル内結露水の発生	分離建屋	その他(不適合)	B	d
125	エアジェットの点検保守用フランジ設置	分離建屋	改善事項	C	c
126	かくはん機順次起動化 動作改善	分離建屋	その他(不適合)	C	c
127	極低レベル無塩廃液受槽の槽内計装配管の疲労破壊による亀裂発生	分離建屋	損傷	C	c
128	ドレン・ベント配管追設による配管改造	分離建屋	改善事項	C	c
129	生産系制御盤汎用演算カードの組み込みソフトウェアの改善	分離建屋	その他(不適合)	C	c
130	硝酸供給ラインのベント配管へのバルブ設置	分離建屋	その他(不適合)	C	c
131	インラインモニタ洗浄ボット液抜きライン改善	分離建屋	改善事項	C	c
132	圧空ラインのドレン抜き対策	分離建屋	改善事項	C	c
133	廃液受槽の計装流体の変更に伴う配管追加設置	分離建屋	改善事項	B	c
134	屋内消火栓設備ホース架不具合	分離建屋	その他(不適合)	C	c
135	サンプリングベンチバルルのオーバーラン対策	分離建屋	その他(不適合)	C	c
136	分離ボット"温度高"警報の最適化	分離建屋	改善事項	C	c
137	床ドレン用ベント管設置位置の変更	分離建屋	改善事項	C	c
138	常用系無停電電源装置監視点検中における誤操作	分離建屋	電源喪失	C	c
139	共除染・分配工程 第1洗浄塔界面計算に使用する密度計振替による改善	分離建屋	改善事項	C	c
140	ミキサセトラ真空堰及びバルブセータ圧力の設定値調整操作の自動化	分離建屋	改善事項	C	c
141	換気設備における差圧制御設定値の監視制御盤指示データ設定誤り	分離建屋	その他(不適合)	C	c
142	使用前検査受検後の配管の改造	分離建屋	その他(不適合)	B	c
143	試験用仮設配管が接続している本設配管の使用前検査再受検	分離建屋	その他(不適合)	C	c
144	NOx発生塔廃液払い出し仮設設備設置に伴う配管改造	分離建屋	その他(不適合)	C	d *1
145	ガイドパイプ補助遮へい体	分離建屋	その他(不適合)	C	c
146	試験用仮設配管が接続している本設配管の使用前検査再受検	分離建屋	その他(不適合)	B	d
147	減酸運転用回収水のベント系への移行	分離建屋	その他(不適合)	B	c
148	セル壁の貫通プラグのグラウト材の密度測定用供試体の寸法違い	分離建屋	その他(不適合)	B	d
149	ゲート弁のシートリークを制御するための改善措置	分離建屋	改善事項	C	c
150	建屋換気設備と塔槽類廃ガス処理設備の取合い圧力調整	分離建屋	改善事項	C	c

\* 1: 誤記の訂正。

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(6/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
151	建屋換気ダクト腐食対策	分離建屋	改善事項	C	c
152	温度計シーす取り付け銘板の付け直し	分離建屋	改善事項	C	c
153	弁シート部材質不良による硝酸ライン設置弁の交換	分離建屋	改善事項	B	c
154	蒸気配管の凝縮水排出不良によるスチームジェットの振動事象	分離建屋	その他(不適合)	C	c
155	環状形槽、円筒槽の液温不均一事象対策	分離建屋	性能未達	B	c
156	電気盤据付ボルトの材料証明書付ボルトへの交換	分離建屋	その他(不適合)	B	c
157	サンプリングベンチソフトのバグ改善	分離建屋	改善事項	C	c
158	ウラン第1中間濃縮設備 一部分の腐食痕	分離建屋	その他(不適合)	B	c
159	ボール逆支弁復旧に伴う内部構造物の復旧ミス	分離建屋	その他(不適合)	B	c
160	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
161	呼吸用空気系統における酸欠防止対策(東京電力㈱福島第二発電所酸欠事象対策)	分離建屋	改善事項	C	c
162	火災検出器温度監視設備表示不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
163	分散型制御システムの計算機停止対策	分離建屋	その他(不適合)	C	c
164	面積式流量計の指示不良	分離建屋	性能未達	C	c
165	塗装仕様違いによる再塗装	分離建屋	その他(不適合)	C	c
166	ウラン/プルトニウムモニタ出力不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
167	生産系ゲデオン計装配管切替弁の未設置	分離建屋	その他(不適合)	C	c
168	ミキサ・セトラかくはん機用電動機コイル断線	分離建屋	損傷	C	c
169	分離建屋における社内検査記録の最新版管理不備	分離建屋	その他(不適合)	B	d
170	共有エアリフトのある二段エアリフトパッケージにおける不要な停止履歴の表示の発生	分離建屋	その他(不適合)	C	c
171	減酸運転用回収水供給ポンプ異常停止時の隔離弁閉止機能の追加	分離建屋	改善事項	C	c
172	一般圧縮空気系統からの駆動用圧縮空気低下によるポンプ停止	分離建屋	改善事項	C	c
173	第1回収硝酸0.1N調整槽攪拌機の異常振動	分離建屋	異常振動	C	c
174	シリンダ弁点検後組立時のボンネットフランジかみ合わせ不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
175	工程管理用計算機における計量管理データ授受の不具合	分離建屋	性能未達	C	c
176	流量計測ポットの部分閉塞による流量指示不良	分離建屋	性能未達	C	c
177	ウラン/プルトニウムモニタ、モニタ、モニタの制御用パソコンソフトの不具合	分離建屋	その他(不適合)	C	c
178	グラフィック画面上における弁の色表示切替え不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
179	分散型制御システム 出力カード不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
180	モニタ掃気エアー流量の低下	分離建屋	性能未達	B	d

保安レベル  
A:保安上重要  
B:その他保安  
C:軽微(保安に係らない)

対応状況  
a:再試験実施済  
b:再試験未実施  
c:機能確認等実施済  
d:機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(7/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
181	計器弁名称の銘板の取付け位置の誤り	分離建屋	その他(不適合)	C	c
182	電磁流量計アースリング用ガスケットの硝酸にじみ補修作業時のガスケット割れ	分離建屋	漏えい	B	d
183	廃液受皿の排出口からの硝酸性ガスの吹きだし	分離建屋	その他(不適合)	C	c
184	線エリアモニタ現場警報器における誤警報発生	分離建屋	その他(不適合)	C	c
185	2段エアリフト異常表示ロジック不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
186	サンプリング装置吸入動作不良	分離建屋	誤動作、動作不良	C	c
187	一般圧縮空気系統凝縮水排出配管閉止キャップの溶接による誤取付	分離建屋	その他(不適合)	C	c
188	回収硝酸受槽攪拌機能 異常表示ロジック不良	分離建屋	その他(不適合)	C	c
189	二酸化炭素消火設備気化器操作盤内スペースヒータ固定用碍子の損傷	分離建屋	損傷	C	c
190	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	分離建屋	改善事項	C	c
191	溶媒貯槽の液位上昇	分離建屋	その他(不適合)	B	d
192	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	分離建屋	性能未達	C	c
193	ミキサセトラスターラ用モータの国産化による保守性の改善	分離建屋	改善事項	C	d
194	ボール逆止弁のシートリーク対策	分離建屋	改善事項	C	d
195	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	分離建屋	改善事項	C	d
196	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	分離建屋	改善事項	B	d
197	壁部ボアリング作業における室内コンセントボックス埋設ケーブルの破損	分離建屋	損傷	C	c
198	バッファポットのオーバーフローラインからの溶液散逸	精製建屋	その他(不適合)	B	c
199	建屋間取合い調整不足による第2酸回収工程 シールポットの水封切れ	精製建屋	性能未達	B	c
200	真空発生用スチームジェットポンプの凝縮水ライン接続先の変更 *1	精製建屋	その他(不適合)	C	c
201	補助油水分離槽における水素掃気用圧縮空気流量計の選定不良	精製建屋	誤動作、動作不良	B	c
202	試薬工程 電導度計計器レンジ選定不良	精製建屋	性能未達	C	c
203	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
204	図面の不備による温水加熱器温水出口温度計の設置位置不良	精製建屋	その他(不適合)	C	c
205	よう素フィルタ後置フィルタ差圧計導圧配管の誤設置	精製建屋	性能未達	C	c
206	建屋換気設備 室間差圧計導圧配管の誤設置	精製建屋	性能未達	C	c
207	NOx発生塔のガスケットの相違	精製建屋	その他(不適合)	C	c
208	配管フランジ部のガスケット材質の相違	精製建屋	その他(不適合)	C	c
209	ポンプへの異物混入	精製建屋	異常振動	C	c
210	ガンマ線検出器の据付不良	精製建屋	その他(不適合)	B	c

\* 1: 誤記の訂正。

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(8/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
211	湿分の侵入による中性子モニタ指示値の不良	精製建屋	性能未達	C	c
212	使用前検査受検後のオリフィス配管改造	精製建屋	その他(不適合)	B	c
213	使用前検査受検後のオリフィス配管改造	精製建屋	その他(不適合)	B	c
214	最高使用圧力変更(外圧から内外圧)に伴う耐圧試験の再実施	精製建屋	その他(不適合)	B	c
215	配管リシール部の高さ不足	精製建屋	その他(不適合)	B	c
216	操作ミスによる精製建屋の大物搬入口のシャッタの変形	精製建屋	損傷	C	c
217	廃液受槽マンホール仮閉止部からの溢流	精製建屋	その他(不適合)	C	c
218	締切運転による回収溶媒ポンプの損傷	精製建屋	損傷	C	c
219	操作ミスによるラインベントからの硝酸ヒドラジンの溢流	精製建屋	漏えい	C	c
220	操作ミスによるダイアフラムシール付差圧伝送器損傷	精製建屋	損傷	C	c
221	操作ミスによる圧力指示計(ブルドン管式)の破損	精製建屋	損傷	C	c
222	仮設フィルタの設置による蒸発缶の異物混入防止	精製建屋	改善事項	C	c
223	飛沫同伴による塔槽類廃ガス処理工程へのPu移行量低減化のための配管ライン変更	精製建屋	改善事項	B	c
224	硝酸ウラナス調整工程における水素濃度測定方法等の改善	精製建屋	改善事項	B	c
225	ボンベ庫の水素ガス取扱方法の変更	精製建屋	改善事項	C	c
226	工程制御盤停止時設定情報不良の改善	精製建屋	その他(不適合)	C	c
227	硝酸ウラナス調整工程の安全弁噴出し先の変更	精製建屋	改善事項	B	c
228	硝酸ヒドラジン供給ポットのベント配管開放先変更	精製建屋	改善事項	B	c
229	リサイクル配管等の追加による特殊廃液受槽における混合性の向上	精製建屋	改善事項	C	c
230	貯槽マンホール溶接部の溶接構造変更による信頼性の向上	精製建屋	改善事項	B	c
231	保守用隔離弁の追加	精製建屋	その他(不適合)	B	c
232	純水配管の追加による保守時の貯槽内洗浄の容易化	精製建屋	改善事項	B	c
233	硝酸ウラナス製造器の保守性向上のための弁追加	精製建屋	改善事項	B	c
234	工程制御盤ヒューズ選定不良の水平展開に伴う対応	精製建屋	その他(不適合)	C	c
235	NOx発生装置から発生する硝酸性窒素廃液を産廃処理するための仮設工事	精製建屋	改善事項	C	d
236	セル内結露水の発生	精製建屋	その他(不適合)	B	d
237	ベント配管における他試薬との接触防止 (硝酸ヒドラジン及び硝酸ヒドロキシルアミン系統ラインの設備改善)	精製建屋	改善事項	B	c
238	速度監視計器収納箱銘板不整合	精製建屋	その他(不適合)	C	c
239	弁材質相違	精製建屋	その他(不適合)	C	c
240	液位計の低圧側導圧配管の液溜まり改善	精製建屋	その他(不適合)	C	c

保安レベル  
A:保安上重要  
B:その他保安  
C:軽微(保安に係らない)

対応状況  
a:再試験実施済  
b:再試験未実施  
c:機能確認等実施済  
d:機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(9/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
241	グローブボックス及びフード差圧計測定位置の改善	精製建屋	その他(不適合)	C	c
242	ブルトニウム濃縮液計量槽の年次校正方法の改善	精製建屋	改善事項	C	c
243	差圧計の指示不良	精製建屋	損傷	C	c
244	スチームジェット駆動蒸気止め弁の制御性の改善	精製建屋	改善事項	C	c
245	ドレン系ベント管開放先換気ダクト吸込み口等の発錆による補修	精製建屋	その他(不適合)	C	c
246	環状形槽の液温不均一事象対策	精製建屋	性能未達	B	c
247	溶媒再生工程 一配管の隙間腐食	精製建屋	その他(不適合)	C	c
248	一般圧縮空気からの凝縮水によるポンプ停止	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
249	気液分離槽における充填物(ガラス製ラシヒリング)の破損	精製建屋	その他(不適合)	C	c
250	高圧系統(溶液)ドレン弁の二重化による設備改善	精製建屋	改善事項	B	c
251	アクティブドレン、配管収納容器負圧測定用導圧配管の施工図間違いによる誤接続	精製建屋	その他(不適合)	B	c
252	建屋換気ダクト腐食対策	精製建屋	改善事項	C	c
253	ブルトニウム精製工程TBP洗浄器の有機相堰の改造	精製建屋	改善事項	C	c
254	脱湿装置プレフィルタケーシング内オートドレンの未設置	精製建屋	その他(不適合)	C	c
255	補助油水分離槽の油水境界面検知の向上	精製建屋	その他(不適合)	C	c
256	フィルタ据付ボルトの材質証明記録不足	精製建屋	その他(不適合)	B	c
257	槽内配管損傷対策	精製建屋	改善事項	C	c
258	サンプリングベンチソフトのバグ改善	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
259	サンプリングベンチバレルのオーバーラン対策	精製建屋	その他(不適合)	C	c
260	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
261	ウランモニタ出力不良	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
262	面積式流量計フランジボルト材質の違い	精製建屋	その他(不適合)	C	c
263	硝酸ヒドラジン貯槽の流量計の据付方向不良	精製建屋	誤動作、動作不良	B	c
264	ウラナス製造器の圧力損失の上昇	精製建屋	その他(不適合)	C	c
265	第2酸回収系加熱設備 凝縮水受槽ポンプ振動過大	精製建屋	異常振動	C	c
266	マンホール溶接部の食い違いによる不具合	精製建屋	その他(不適合)	C	c
267	インタベンション型目視検査装置からの水漏れ	精製建屋	損傷	C	c
268	廃液受槽マンホール部に係る社内管理表確認不備	精製建屋	その他(不適合)	B	c
269	建屋換気設備と塔槽類廃ガス処理設備の取合い圧力調整	精製建屋	改善事項	B	c
270	精製建屋の建物に対する壁厚測定点の確認不備	精製建屋	その他(不適合)	B	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(10/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
271	精製建屋における社内管理票確認不備	精製建屋	その他(不適合)	B	c
272	自動サンプリング気送中に気送管内にジャグ(試料移送容器)が詰まってしまい警報が発報した事象	精製建屋	その他(不適合)	C	c
273	一時貯留処理槽から漏えい液受皿への溢流事象	精製建屋	その他(不適合)	B	c
274	二酸化炭素消火設備気化器操作盤内スペースヒータ固定用碍子の損傷	精製建屋	損傷	C	c
275	凝縮水受ポット用ポンプの振動増大に伴うキャドポンプロータ損傷	精製建屋	異常振動	C	c
276	硝酸ヒドラジン5M貯槽ポンプ サポート拘束位置不良	精製建屋	異常振動	C	c
277	ウランモニタ、モニタの制御用パソコンソフトの不具合	精製建屋	その他(不適合)	C	c
278	分散型制御システム 出力カード不良	精製建屋	その他(不適合)	C	c
279	モニタの制御用パソコンソフトの不具合	精製建屋	その他(不適合)	B	c
280	回収硝酸受槽攪拌機能 異常表示ロジック不良	精製建屋	その他(不適合)	C	c
281	塔槽類廃ガス処理設備 一般圧縮空気喪失時の負圧調整用サービスエアラインへの廃ガス逆流対策	精製建屋	改善事項	B	c
282	タービン流量計部品材質の違い	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
283	サンプリング装置吸入動作不良	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
284	面積式流量計の指示不良	精製建屋	性能未達	C	c
285	電磁弁流れ方向間違い	精製建屋	その他(不適合)	C	c
286	バルブシートの仕様間違いによるステライト盛の不備	精製建屋	その他(不適合)	C	c
287	共有エアリフトのある二段エアリフトパッケージにおける不要な停止履歴の表示の発生	精製建屋	その他(不適合)	C	c
288	分散型制御システムの計算機停止対策	精製建屋	その他(不適合)	C	c
289	電磁流量計アースリング用ガスケットの硝酸にじみ補修作業時のガスケット割れ	精製建屋	その他(不適合)	C	d
290	ボンベ庫建屋内の天井での通気性の向上	精製建屋	改善事項	B	d
291	ボンベ庫からの水素の大気放出口の改善	精製建屋	改善事項	B	d
292	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	精製建屋	改善事項	C	c
293	電磁流量計の指示不良	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
294	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	精製建屋	性能未達	C	c
295	ウラナス製造工程 洗浄塔へ供給する窒素系統の弁の開閉状態の変更	精製建屋	その他(不適合)	B	c
296	ウラナス製造工程 洗浄塔へ供給する圧縮空気の流量低によるインターロックの改善	精製建屋	改善事項	B	c
297	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(ダンパ機能の固定)	精製建屋	改善事項	C	d
298	計器弁名称の銘板の取付け位置の誤り	精製建屋	その他(不適合)	C	c
299	ボール逆止弁のシートリーク対策	精製建屋	改善事項	C	d
300	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	精製建屋	改善事項	B	d

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(11/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
301	計装用加湿器の水質の酸性化	精製建屋	その他(不適合)	C	d
302	回収酸1N貯槽ポンプの作動音(通常より大きめ)に伴う点検	精製建屋	異音	C	c
303	セル内火災検知器警報計収納箱の警報ブザーの鳴動不良	精製建屋	誤動作、動作不良	C	c
304	モニタB洗浄ポット液位計ドレン弁からの漏えい防止対策	精製建屋	改善事項	C	c
305	建屋換気設備 制御系改造後の不適合	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
306	サンプリングボックスの吸気口閉止	低レベル廃液処理建屋	改善事項	B	c
307	ガスカート締付構造不良による弁ボンネット部からの硝酸漏えい	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
308	流量調節弁選定ミスによる加熱ループ凝縮水排出不良	低レベル廃液処理建屋	性能未達	C	c
309	弁グランドナット材質の相違	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
310	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレートの過切削	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
311	ライニング貯槽 三隅コーナ溶接部の溶け込み不足	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
312	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレート切断寸法の相違	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
313	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレート切断寸法の相違	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
314	ライニング貯槽補修工事におけるライニングプレートの溶接不良	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
315	工程制御盤ファンクションリセット回路の欠落	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
316	ライニング貯槽ライニングプレートの誤切断	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
317	ライニング貯槽補修工事における既設下地材誤切断	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
318	ライニング貯槽補修工事における施工図改訂版の発行遅れによる再施工	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
319	積算流量計検出配管継手部からの漏えい	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
320	ライニング貯槽における不適切な溶接	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
321	埋込金物点検による配管切断に伴う使用前検査の再受検	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
322	サンプリング配管改造に伴う使用前検査の再受検	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
323	管理区域設定のための建屋間配管隔離及び復旧	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
324	作業ミスによる蒸気発生器からの漏えい	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
325	操作ミスによる屋外廃液収集槽への試験廃液の誤移送	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
326	操作ミスによるサンプリングニードルチューブの曲がり発生	低レベル廃液処理建屋	損傷	C	c
327	ドレン弁の操作ミスに伴う廃液中和槽からのオーバーフロー	低レベル廃液処理建屋	漏えい	C	c
328	2種類(硝酸、水酸化ナトリウム)以上の試薬を単一計器で計測する流量計測方式の変更	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
329	ドレン・ベント配管追設による冷却水母管における水抜き、水張り時間の短縮	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
330	ポンプ交換作業時におけるアウトセルカート走行性の向上	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施



**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(12/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
331	排風機分解のための弁仕様変更に伴う使用前検査の再受検	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
332	純水供給ラインの配管経路変更による配管、機器等の洗浄作業性の向上	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
333	セル内結露水の発生	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	d
334	建屋換気ダクト腐食対策	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
335	エアジェットの点検保守用フランジ設置	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
336	調節制御ループにおける監視制御盤指示設定データ設定誤り	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
337	気送管保守交換性の不良	低レベル廃液処理建屋	干渉	C	c
338	オリフィス流量計検出配管取出し位置不整合	低レベル廃液処理建屋	性能未達	C	c
339	呼吸用空気系統における酸欠防止対策	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
340	分離ポット“温度高”警報の最適化	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
341	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
342	サンプリングベンチソフトのバグ改善	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
343	巡視点検中における常用系無停電電源装置の誤操作	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
344	サンプリングベンチパレルのオーバーラン対策	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
345	塗装仕様違いによる再塗装	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	C	c
346	低レベル廃液処理建屋の建物に対する壁厚測定点の確認不備	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
347	低レベル廃棄物処理建屋における社内検査記録の最新版管理不備	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
348	クレーン点検作業中の横行モータ故障事象	低レベル廃液処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
349	配管改造工事後の検査範囲の確認不足	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
350	差圧伝送器設置場所不整合	低レベル廃液処理建屋	その他(不適合)	B	c
351	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	低レベル廃液処理建屋	改善事項	C	c
352	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	低レベル廃液処理建屋	性能未達	C	c
353	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	低レベル廃液処理建屋	改善事項	B	d
354	モニタしきい値異常発生	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
355	分析ボックス気密扉操作時の負圧上昇	分析建屋	その他(不適合)	C	c
356	サンプリングベンチニードル交換用グリッパ電磁石位置不良の発生	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
357	サンプリングベンチジャグ詰まり警報発生	分析建屋	その他(不適合)	C	c
358	分析ボックスの負圧警報の誤発報	分析建屋	その他(不適合)	C	c
359	スライドリング芯ずれによるロッドとロッドガイドの干渉	分析建屋	干渉	C	c
360	気送設備 ジャグ移送分岐装置の圧入スリーブ接触による回転不良	分析建屋	異常振動	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(13/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
361	空ジャグ供給装置の動作不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
362	蒸気ライン流量指示計の指示不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
363	自動火災感知器の未設置	分析建屋	その他(不適合)	B	c
364	弁グランド押えフランジ及びナット材質の相違	分析建屋	その他(不適合)	C	c
365	配管フランジ部のガスケット使用方法の不良	分析建屋	その他(不適合)	C	c
366	異物混入によるパディラック運搬容器 サポートテーブルの動作不良	分析建屋	短絡	C	c
367	自動サンプリング操作における気送統括制御盤と生産系制御盤データの不整合	分析建屋	その他(不適合)	C	c
368	ソフトウェア不良による気送統括制御盤の動作不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
369	分析ボックス現場監視制御盤の表示不良	分析建屋	その他(不適合)	C	c
370	操作ボックス補助遮へい体とパディラック付属品テーブルシールドとの干渉	分析建屋	干渉	B	c
371	気送設備貫通孔シールド改造工事に伴うジャグカートリッジの気送停止	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
372	気送設備ジャグ通過検知器の誤設置	分析建屋	その他(不適合)	C	c
373	硝酸受入配管ラインの閉止栓の硝酸微少漏えい	分析建屋	漏えい	C	c
374	自動火災報知設備感知器内への結露水浸入による誤発報	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
375	気送管及び空気管のmastジョイントの設置不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
376	施工ミスによる埋設電線管切断に伴う火報発報	分析建屋	損傷	C	c
377	ポンプの移送流量過大による加温不足	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
378	換気ダクト逆止ダンパ取り付け位置変更に関する手続き不備	分析建屋	その他(不適合)	B	c
379	作業ミスによる濃縮器ガラス製フィーディングレグの損傷	分析建屋	損傷	C	c
380	屋外仮設設備廃液タンクからの漏えい	分析建屋	その他(不適合)	C	c
381	外気均圧の未実施による扉の変形	分析建屋	損傷	C	c
382	ポンプ空運転による移送不良	分析建屋	異常振動	C	c
383	作業ミスによる硝酸飛沫の顔面付着	分析建屋	その他(不適合)	C	c
384	分析ボックス内部の錆の発生	分析建屋	その他(不適合)	C	c
385	廃ガスセパレータのバント先排気系統ダクト配管の発錆	分析建屋	漏えい	C	c
386	分析管理用計算機の動作不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
387	操作ボックス内冷水ラインの結露	分析建屋	改善事項	C	c
388	建屋換気設備 差圧伝送器 計測表示レンジの改善	分析建屋	その他(不適合)	C	c
389	分析ボックス内エアシリンダ用圧縮空気供給ホースの劣化	分析建屋	損傷	C	c
390	試薬関連計装配管ドレン弁からの漏えい	分析建屋	漏えい	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(14/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
391	気送管保守交換の不良	分析建屋	干渉	C	c
392	換気設備加熱コイル凍結防止対策の実施	分析建屋	改善事項	C	c
393	直長盤リアルタイムトレンド表示不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
394	サンプリングベンチソフトのバグ改善	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
395	自火報設備の音響聞き取り不良による音響装置の追設	分析建屋	改善事項	C	c
396	分解点検復旧後再運転時の誤操作によるポンプの損傷	分析建屋	損傷	C	c
397	給水設備の建屋間取合構造について設工認図書(溶接構造)との不整合	分析建屋	その他(不適合)	C	c
398	空ジャグ供給装置異常検出口ジック送信異常の件	分析建屋	性能未達	C	c
399	送液スチームジェットポンプA/B出口温度計の誤接続	分析建屋	改善事項	C	c
400	気送設備においてジャグ(試料移送容器)が到着したにも係らず、途中で停止した異常信号を発報した事象	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
401	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
402	気送総括制御盤の通信不良	分析建屋	性能未達	C	c
403	防煙防火ダンパの動作確認を実施する為にダンパを閉止した際、負圧に維持されている建屋内が一時的に正圧となった事象	分析建屋	その他(不適合)	B	c
404	煙感知器(自動火災報知設備)内への結露水浸入による発報	分析建屋	誤動作、動作不良	C	c
405	操作ボックス内に設置されている空気作動弁をボックス外に搬出しようとしたが、搬出できなかった事象	分析建屋	干渉	C	c
406	空ジャグ供給装置内においてジャグが起立しない事象が多発した事による改善	分析建屋	改善事項	C	c
407	防煙防火ダンパ用信号線の損傷	分析建屋	損傷	B	c
408	分析ボックス排気弁フランジ部ガスケット締付不良	分析建屋	その他(不適合)	C	c
409	分散型制御システム 出力カード不良	分析建屋	その他(不適合)	C	c
410	建屋換気設備の閉じ込めモードへの切替え作業段階で、各排風機を停止した際に一時的正圧となった事象	分析建屋	その他(不適合)	B	c
411	建屋換気設備の閉じ込めモード復旧操作の際、一時的正圧となった事象	分析建屋	その他(不適合)	B	c
412	防煙防火ダンパ用の信号線復旧後の動作確認において、ダンパを閉止した際に建屋内が一時的正圧となった事象	分析建屋	その他(不適合)	B	c
413	建屋換気設備の閉じ込めモードから一括再起動操作時の操作ミスにより建屋内が一時的過負圧となった事象	分析建屋	その他(不適合)	C	c
414	線用核種分析装置デッドタイムの異常	分析建屋	その他(不適合)	C	c
415	Gエリア差圧計の設置	分析建屋	改善事項	C	d
416	防火ダンパ誤動作時の一時的な正圧事象の回避対策(ダンパ機能の固定)	分析建屋	改善事項	C	d
417	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	分析建屋	性能未達	C	c
418	建屋換気系 加湿器用蒸気ラインの停止による自力式減圧弁発錆事象の改善	分析建屋	改善事項	B	d
419	防火ダンパ誤動作時の一時的な正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	分析建屋	改善事項	C	d
420	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	分析建屋	改善事項	B	d

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(15/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
421	計器弁名称の銘板の取付け位置の誤り	分析建屋	その他(不適合)	C	c
422	フード排風機の停止	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
423	熱媒循環ライン及び加熱器の圧力計の指示不良	ウラン脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
424	ガスケット材質の相違による硝酸受入ラインからの硝酸漏えい	ウラン脱硝建屋	漏えい	B	c
425	弁鑄造不良によるドレン弁からの硝酸漏えい	ウラン脱硝建屋	漏えい	B	c
426	圧力容器胴体内部・管束の腐食及びドレン配管の詰り	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
427	施工ミスによる埋設電線管損傷	ウラン脱硝建屋	損傷	C	c
428	屋外消火栓取り合いプルボックスへの雨水浸入	ウラン脱硝建屋	漏えい	C	c
429	目的外使用による仮設配管からの硝酸漏えい	ウラン脱硝建屋	漏えい	C	c
430	2次蒸気発生器安全弁からの液漏れ	ウラン脱硝建屋	漏えい	C	c
431	サンプリングニードルの先端部の接合不良による脱落の水平展開対応	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
432	硝酸蒸気除去フィルタの設置	ウラン脱硝建屋	改善事項	C	c
433	新NOx製造設備の設置	ウラン脱硝建屋等	改善事項	B	d
434	自動充てん装置の作動不良	ウラン脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
435	ユーティリティ建屋供給圧力現状考慮に伴う常用圧縮空気・窒素・一般冷却水ラインの最高使用圧変更	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
436	空調用冷水ポンプ切替時の吐出圧力計の破損	ウラン脱硝建屋	損傷	C	c
437	還水の送液不可に伴う還水槽液位高高の発報	ウラン脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
438	後打ちアンカー施工における照明用埋設電線管の損傷	ウラン脱硝建屋	損傷	C	c
439	フード排風機Bの逆止ダンパ不動作によるフード排気風量の未達	ウラン脱硝建屋	誤動作、動作不良	B	c
440	足場材搬入における搬出入クレーンの給電ケーブルの損傷	ウラン脱硝建屋	損傷	C	c
441	脱硝塔洗浄液供給槽液位計ドレン弁からの漏えい防止対策	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
442	分散型制御システムの計算機停止対策	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
443	グリーン区域の代表室の選定及び負圧計の新設	ウラン脱硝建屋	改善事項	C	d
444	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	ウラン脱硝建屋	改善事項	B	d
445	建屋換気設備排気風量増加に伴う軽警報の発報	ウラン脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
446	自火報設備の音響聞き取り不良による音響装置の追設	ウラン酸化物貯蔵建屋	改善事項	C	c
447	監視制御盤のシステム警報の割付不良	ウラン酸化物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	C	c
448	還元炉ヒータの制御不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
449	焙焼炉廃ガスフィルタの熱電対誤設置によるOリング損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	損傷	C	c
450	焙焼炉昇降リフトと蛍光灯の干渉による損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c

保安レベル  
A:保安上重要  
B:その他保安  
C:軽微(保安に係らない)

対応状況  
a:再試験実施済  
b:再試験未実施  
c:機能確認等実施済  
d:機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(16/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
451	圧縮空気設備除湿器のフィルタエレメントの損傷	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	損傷	C	c
452	粉体部コンベア駆動用モータ動作不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
453	化学薬品貯蔵供給系ボール弁の材質相違	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
454	建屋換気設備配管収納容器の負圧表示	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
455	ボール弁のグランド押えボルトの材質相違	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
456	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
457	試験ライン計装配管ドレン弁からの漏えい防止対策	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	漏えい	C	c
458	換気設備用冷凍機の異常停止	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
459	核物質防護上の考慮不足に対する再発防止対策	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	B	c
460	CO2ダンパ作動試験中における換気空調系エアアンバランスに伴う出入不可事象	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
461	ゴム系ガスケットフランジ部ボルト締付不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
462	電磁弁動作不良による還元炉内圧異常	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
463	建屋給気加熱コイルの破損	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	損傷	C	c
464	脱硝工程排気流量計の圧力損失大による排気能力不足	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達	B	c
465	充てん台車旋回異常による停止	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
466	監視制御盤 システム警報割付不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	誤動作、動作不良	C	c
467	分散型制御システムの計算機停止対策	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	その他(不適合)	C	c
468	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	改善事項	C	d
469	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(ダンパ機能の固定)	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	改善事項	C	d
470	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	改善事項	C	d
471	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	性能未達	C	c
472	非常用母線単独停電試験時の貯蔵室排風機異常表示の点灯	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	C	c
473	運転予備用母線単独停電試験時の貯蔵室送風機異常表示の点灯	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	C	c
474	機器排水ポンプ起動時における電気設備地絡警報の発報	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	地絡	C	c
475	運転予備用母線負荷の起動不良	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	C	c
476	放射線監視盤における線エリアモニタの指示及び記録異常	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	その他(不適合)	B	c
477	建屋換気系インクライナ動作不良	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	C	c
478	貯蔵台車の搬送確認試験におけるケーブルベアと査察用端子箱との干渉	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	干渉	C	c
479	強風に伴う大気圧配管の基準圧変動対策	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	改善事項	C	d
480	監視制御盤のシステム警報の割付不良	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	誤動作、動作不良	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(17/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
481	分散型制御システムの計算機停止対策	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	その他(不適合)	C	c
482	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(ダンパ機能の固定)	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	改善事項	C	d
483	H-4メルク用芯合せ治具厚さ寸法過大	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	c
484	塵埃の侵入による建屋送風機用遮断器不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
485	蒸気供給流量計指示値オースケール	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	c
486	建屋換気設備停止時の逆流現象	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	B	c
487	廃棄物保管運転における運転の不成立	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
488	施工不良による角型容器蓋の溶接部の傷発生	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
489	ウエストバスケット用キャニスタの製作不良	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
490	フォークリフトマストと角型容器供給コンベヤフォークストップとの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	c
491	第3廃棄物取扱台車着座リミットスイッチの損傷	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
492	ウエストバスケットとキャニスターの干渉	低レベル廃棄物処理建屋	干渉	C	c
493	作動油槽からの作動油飛散によるエアブリーザの破損	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
494	作業ミスによる建屋換気給気ダクトの変形	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
495	冷凍機ベーンモータ動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
496	ドラム缶保管ワイヤーの型くずれ	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
497	排風機吸込圧力計器の動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
498	シール水貯槽への試薬供給方法の改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
499	圧縮成型装置不適合事象に伴う設備改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
500	圧縮空気設備除湿器のフィルタエレメントの損傷	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
501	純水受槽、飲料水受槽の水温上昇防止に対する改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
502	角型容器クレーン吊具開放用電動工具(ナットライナ等)の設置	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
503	保守ホイストの停止事象	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
504	窒素分離器洗浄ノズルの改善	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
505	粉体移送機軸封部へ洗浄水の浸入防止	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
506	粉体ホッパ排出部形状の変更	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
507	弁残留洗浄液低減対策	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
508	粉体排出機粉体付着防止用チェーン取付け	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
509	混合機液体バインダノズル閉塞防止	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
510	パワーセンターC2の遮断機不良による雑固体廃棄物焼却系主排風機異常	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(18/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
511	完了検査(建築基準法)での指摘によるシャッタの交換	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	B	c
512	C2区域給気コイルユニットからの水漏れ	低レベル廃棄物処理建屋	漏えい	C	c
513	圧縮成型装置への混合粉体の供給不良	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
514	空調機排気ダクトの逆止ダンパ破損	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
515	廃液収集設備サンプリングラインの配管漏水事象	低レベル廃棄物処理建屋	漏えい	C	c
516	サンプリングジャグ真空発生装置のニードルの破損	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
517	塔槽類廃ガス処理工程外乱試験における圧力センサ異常検出時の警報・インターロックの動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
518	圧縮成型設備 添加剤供給機への治具噛込み事象	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
519	防煙区画における配管等貫通部処理の実施	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	B	c
520	苛性ソーダラインからの析出	低レベル廃棄物処理建屋	漏えい	B	c
521	種々低レベル廃液受槽AエゼクタサポートUボルト固定用ナットの脱落	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
522	圧縮成型装置用現場制御盤ノイズ調査準備作業中の短絡	低レベル廃棄物処理建屋	短絡	C	c
523	換気設備用冷凍機運転時の冷却水供給量増大による警報の発生	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
524	廃溶媒処理系 熱分解装置逆洗運転での渋滞警報の発生	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
525	試薬供給ライン圧力計からの漏えい	低レベル廃棄物処理建屋	漏えい	C	c
526	建屋排風機インクラナの運動ロッド脱落	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
527	排風機切替時における逆止弁の動作不良による高性能粒子フィルタ入口圧力高警報の発報	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
528	分散型制御システム 出力カード不良	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
529	廃溶媒処理系の受入工程漏えい液受血液位高警報の発報	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
530	誤操作による低レベル廃棄物処理建屋換気設備の停止	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	B	c
531	低レベル濃縮廃液処理系乾燥装置の回転翼トルク値大による運転停止	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
532	雑固体廃棄物焼却系 残燃運転の異常停止	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
533	蒸気・復水設備における減圧弁の動作不良	低レベル廃棄物処理建屋	誤動作、動作不良	C	c
534	換気設備冷凍機A~C ライングラウンド端子の接地	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
535	自吸式ポンプへの呼び水注入手順の明記	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	c
536	空調冷水系 圧縮空気作動弁の防振金具の割れ	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
537	廃溶媒処理系 弁の遠隔操作棒破損	低レベル廃棄物処理建屋	損傷	C	c
538	線用核種分析装置の測定異常	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
539	外部電源喪失時の一時的な正圧事象の回避対策	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	B	d
540	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(耐腐食性ヒューズへの交換)	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d

保安レベル

- A:保安上重要
- B:その他保安
- C:軽微(保安に係らない)

対応状況

- a:再試験実施済
- b:再試験未実施
- c:機能確認等実施済
- d:機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(19/21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
541	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データの入力不良	低レベル廃棄物処理建屋	性能未達	C	c
542	液体バインダ供給ラインの閉塞防止対策	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
543	防火ダンパ誤作動時の一時的な正圧事象の回避対策(ダンパ機能の固定)	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	C	d
544	角型容器用非破壊分析装置の通信エラー	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
545	乾燥装置粉体排出部温度低による処理運転の停止	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
546	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	低レベル廃棄物処理建屋	改善事項	B	d
547	排風機(B)の異常に伴う予備機への自動切替	低レベル廃棄物処理建屋	その他(不適合)	C	c
548	低レベル廃棄物処理建屋換気筒航空障害灯の不具合	低レベル廃棄物処理建屋 換気筒	誤動作、動作不良	C	c
549	ソフトウェア不良による建屋監視制御盤画面のロック	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
550	分析管理監視盤の表示不良	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
551	施工ミスに伴うネットワークシステムの停止	制御建屋	その他(不適合)	C	c
552	運転予備用空調冷水系冷凍機凝縮圧力高トリップ	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
553	安全指令放送設備 マイク操作器の誤接続	制御建屋	性能未達	C	c
554	改良不備による計算機の再起動不能	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
555	火災報知盤・防災盤への火災信号の伝達不良	制御建屋	性能未達	C	c
556	監視制御盤のコネクタ部圧着不良によるファン異常発生	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
557	監視制御盤の表示不良	制御建屋	その他(不適合)	C	c
558	当直長業務支援/工程管理用(計量管理)計算機のサーバ計算機の異常	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
559	当直長業務支援/工程管理用計算機画面操作不可	制御建屋	性能未達	C	c
560	工程管理用計算機 データ欠損による再起動不可	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
561	工程管理用計算機データ授受の不具合	制御建屋	性能未達	C	c
562	工程管理用計算機 溶液移送管理機能データ入力不良*1	制御建屋	性能未達	C	c
563	プロセス周期データ表示不良	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
564	電気盤据付ボルトの材質証明記録不足	制御建屋	その他(不適合)	B	c
565	火災報知盤における部屋番号の誤記	制御建屋	その他(不適合)	C	c
566	放射線監視盤における一部表示消え	制御建屋	性能未達	C	c
567	総合防災盤 火災警報信号の伝送不良	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
568	モニタ試験時における指示値の放射線管理用計算機への誤取込み	制御建屋	その他(不適合)	C	c
569	工程管理用計算機 燃料番号読取・照合時における承認結果表示不良	制御建屋	その他(不適合)	C	c
570	工程管理用計算機 燃料カット数表示不良	制御建屋	その他(不適合)	C	c

\* 1: 誤記の訂正。

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施



**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(20 / 21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
571	監視制御盤 制限値変更入力操作におけるデータ送信エラー	制御建屋	その他(不適合)	C	c
572	工程管理用計算機 特殊核計装用燃料有効長の表示ロジック不良	制御建屋	その他(不適合)	C	c
573	記録計目盛板の精度外れ	制御建屋	性能未達	C	c
574	制限値変更入力操作におけるデータ送信エラー	制御建屋	その他(不適合)	C	c
575	工程管理用計算機から監視制御盤への分析データ伝送不可	制御建屋	誤動作、動作不良	C	c
576	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	制御建屋	改善事項	B	d
577	n-ドデカン受入口キャップの固着及び切断	試薬建屋	その他(不適合)	C	c
578	弁のボルト・ナット材質の相違	試薬建屋	その他(不適合)	C	c
579	廃ガス洗浄塔フランジ異物混入防止用シートの取り忘れ	試薬建屋	その他(不適合)	C	c
580	受入試薬の仕様の相違	試薬建屋	その他(不適合)	C	c
581	オープントレンチ配管貫通部からの漏えい	試薬建屋	漏えい	C	c
582	ベント配管における他試薬との接触防止 (硝酸ヒドラジン及び硝酸ヒドロキシルアミン系統ラインの設備改善)	試薬建屋	改善事項	B	c
583	化学薬品貯蔵供給系の購入試薬仕様変更に伴う硝酸ヒドロキシルアミン貯槽等の削除	試薬建屋	改善事項	C	c
584	試薬施設の試薬液封対策	試薬建屋	改善事項	B	c
585	試薬建屋 液封対策工事における弁取り付け違い	試薬建屋	その他(不適合)	C	c
586	建屋間移送(n-ドデカン)不良	試薬建屋等	誤動作、動作不良	C	c
587	公害防止協定の室素上限値を遵守するための措置	試薬建屋	改善事項	C	c
588	試薬施設の試薬液封対策(硝酸供給配管の弁型式交換)	試薬建屋	改善事項	B	c
589	HN:硝酸ヒドラジン/HAN:硝酸ヒドロキシルアミン系統改造工事における配管の誤切断	試薬建屋	その他(不適合)	B	c
590	電気盤固定ボルトの不足による施工不良	試薬建屋	その他(不適合)	C	c
591	積算流量計表示桁数の見直し	試薬建屋	改善事項	C	c
592	オフガス洗浄塔への炭酸ナトリウム供給ポンプ及び供給弁の動作不良	試薬建屋	誤動作、動作不良	C	c
593	ウォーターハンマー発生によるスチームトラップフロートの損傷	出入管理建屋	損傷	C	c
594	スチームハンマーによる仕切り弁の弁体及び弁座破損	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
595	操作ミスによる冷水設備膨張槽水位「低」警報の発報	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
596	気送管遮へい体の厚さ不足	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
597	分散型制御システム 訓練設備出力カードの不良	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
598	監視制御盤 差圧制御設定機能の不良	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
599	ランドリ設備の試運転時における動作不良及び損傷	出入管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
600	洗濯設備の制御ロジック不良	出入管理建屋	誤動作、動作不良	C	c

保安レベル

- A:保安上重要
- B:その他保安
- C:軽微(保安に係らない)

対応状況

- a:再試験実施済
- b:再試験未実施
- c:機能確認等実施済
- d:機能確認等未実施

**別表 - 3 化学試験に直接関係しない不適合等(21 / 21)**  
**(管理区域設定前までに確認された不適合等 619件)**  
**(第1グループ、第2グループ)**

No.	件名	建屋名	内容	保安レベル	対応状況
601	ランドリ設備の試験時における動作不良(マスク性能試験装置マスクボックス開閉異常)	出入管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
602	洗濯設備のコンベア動作不良	出入管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
603	洗濯設備の制御ロジック不良	出入管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
604	洗濯廃液処理施設処理工程中断	出入管理建屋	誤動作、動作不良	C	c
605	脱湿装置Aサイレンサの損傷	出入管理建屋	損傷	C	c
606	防煙防火ダンパ動作確認時のダンパ閉止に伴う建屋内正圧事象	出入管理建屋	その他(不適合)	B	c
607	分散型制御システム 出力カード不良	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
608	放送設備における安全指令放送の動作回路の改善	出入管理建屋	その他(不適合)	C	c
609	風量調整用防火ダンパの温度ヒューズ装置の製作不良	出入管理建屋	性能未達	C	c
610	常用無停電電源装置の電源断時における影響緩和対策	出入管理建屋	改善事項	B	d
611	試薬の受入れ方法の変更 (硝酸ヒドラジン及び硝酸ヒドロキシルアミン系統ラインの設備改善)	洞道等	改善事項	B	c
612	アクティブトレンチ - 配管収納容器間の負圧調整の改善	洞道等	改善事項	C	c
613	アクティブトレンチ(AT07)内配管の検査記録の不備	洞道等	その他(不適合)	C	c
614	第2非常用ディーゼル発電機設備ディーゼル機関シリンダ出口清水温度計の指示不良	非常用電源建屋	誤動作、動作不良	C	c
615	冷却水排水ピットへの雨水漏えい	非常用電源建屋	その他(不適合)	C	c
616	非常用ディーゼル発電設備蓄熱室給気フードの除雪対策	非常用電源建屋	その他(不適合)	B	c
617	圧縮空気製造施設(本設)台数制御運転時の制御不良	ユーティリティ建屋	誤動作、動作不良	C	c
618	操作ミスによる貯留設備貯留槽からの漏えい	仮設中和槽	漏えい	C	c
619	汚染時対応訓練の受講者確認の遺漏	-	その他(不適合)	C	c

保安レベル

- A: 保安上重要
- B: その他保安
- C: 軽微(保安に係らない)

対応状況

- a: 再試験実施済
- b: 再試験未実施
- c: 機能確認等実施済
- d: 機能確認等未実施